

科目ナンバー		1001A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
1	哲学的思考	1単位	15時間	必修	講義	1年	前期
責任者		榎本直樹		担当者	榎本直樹		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>先人の哲学・思想に学び、自らの人間観や世界観を主体的に形成するために哲学的な考え方、見方、考える力を養う。また、看護の対象である「人間」について主体的に深く考え、心と身体、性、進化、幸福などの観点から学修する。自分の現在の姿を包括的に捉え、人間とはどのような存在かを言葉で表現できることを目標とする。</p> <p>授業は講義形式で行うが、毎回の授業の途中または終了前に、ミニツッパーパーの作成・提出を求める。記述内容は主に講義の主題についての学び、自分の考えや疑問などである。ミニツッパーパーの記述は、他者に自分の考えをわかりやすく表現する力を養う。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
<input checked="" type="radio"/> D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 哲学するとはどういうことか説明できる。  2) 哲学的な問題について批判的に考え、表現することができる。  3) 人間や社会について主体的に考え、さまざまな見方、考える力を身につける。  4) 自分自身が前提としている考えを理解し、必要があればそれを変容することができる。			
<input type="radio"/> D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
<input type="radio"/> D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
<input type="radio"/> D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
<input type="radio"/> D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
<input type="radio"/> D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	哲学とはどのような学問か	講義	榎本直樹	シラバスを読み、関心のある哲学的な問題について考える	事前学習：0.5時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：0.5時間
2	科学と哲学の違い	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
3	自己とは何か	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
4	他者の心をどうやって知るのか	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
5	心と身体は別物か	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
6	自由意志はあるのか	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
7	社会はどうやって生まれたのか	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
8	よりよい社会とは	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		期末試験(80%)、提出物(20%)で評価し、60点以上を合格とする。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認し、全体に対してコメント等フィードバックを行う。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		使用しない。					
<b>参考書</b>		授業で提示する。					
<b>参考文献</b>		授業で提示する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1002A			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
2	倫理学の基礎	1単位	15時間	必修	講義	1年	前期
責任者		杉浦恵子		担当者	杉浦恵子, 榎本直樹		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
倫理学の諸理論と基本的な考え方を学び、社会における規範（ルール）の根拠について考える。また、現実社会の倫理的問題に関する道徳的判断や道徳的価値についての議論を取り上げて、議論の背景を分析し根拠、究極的原理、葛藤について考察する。さらに、看護・医療の場面に生じる倫理的問題を論じる視点を学修する。 授業は講義や自己学習活動を前提とした課題演習を取り入れ、社会的規範や道徳の意味、その必要性を学ぶ。また、学生自らの道徳的な価値判断とその理由を他者が納得できる形で説明できる能力を養う。							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
◎	D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる	1) 倫理学の目的や意義について理解し、説明できる。					
◎	D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる	2) 倫理問題を多角的な視点から眺め、考えを深めることができる。					
○	D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる	3) 倫理問題について自分自身の考えを明確に言語化し、他者と議論することができる。					
○	D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる	4) 現代社会の問題、特に医療・看護をめぐる問題に関心をもち、考察することができる。					
○	D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる						
○	D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	倫理と倫理学	講義	榎本直樹	シラバスを読み、関心のある倫理問題について考える	事前学習：0.5時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：0.5時間
2	倫理的に考えるとは	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
3	具体的な倫理問題について考える	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
4	主要な倫理学説(1) 功利主義とは	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
5	主要な倫理学説(2) 義務論とは	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
6	主要な倫理学説(3) 徳倫理学とは	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
7	生命倫理の問題について考える1	講義	杉浦恵子	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
8	生命倫理の問題について考える2	講義	榎本直樹	指示された内容について自分の考えをまとめておく	事前学習：1時間	配布された講義資料やノートで復習	事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		期末試験(80%)、提出物(20%)で評価し、60点以上を合格とする。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認し、全体に対してコメント等フィードバックを行う。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		使用しない。					
<b>参考書</b>		授業で提示する。					
<b>参考文献</b>		授業で提示する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1003A			実務経験のある教員等の有無		無	
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期	
3	多文化共生論	1単位	15時間	必修	講義	1年	前期	
責任者		宮林郁子		担当者	宮林郁子			
<b>授業の概要(授業の目的)</b>								
<p>「多文化共生」をめぐる様々な争点について多角的に検討し、異文化理解のための基本的視座と方法を学修する。世界の歴史、社会、文化に関する基本的な内容と文化的多様性を踏まえた異文化コミュニケーションの現状と課題を学ぶ。事例を中心として異なる文化的背景を持つ人々の交流の経緯と現状、文化の多様性を追体験し、多文化共生への理解を深める。</p> <p>授業は講義やグループワーク形式で行う。グループディスカッションや学習課題を通して『問題を発見する力』および『工夫する力』の向上を目指す。</p>								
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>					<b>学修の到達目標</b>			
<input type="radio"/>	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 文化の多様性を理解することで、他者理解の姿勢を持つことができる。 2) 歴史、社会、文化に関する基本的な内容と、文化的多様性を踏まえた異文化コミュニケーションの現状と課題を学ぶ。 3) グループディスカッションや学習課題を通して『問題を発見する力』および『工夫する力』の向上を目指す。			
	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
<input type="radio"/>	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
<input checked="" type="radio"/>	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>								
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)				
1	文化と文化人類学 ガイダンス、文化人類学とは	講義	宮林郁子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：0.5時間 事後学習：0.5時間			
2	家族と親族 家族の成り立ち、家族とは	講義	宮林郁子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間			
3	人生と通過儀礼	講義	宮林郁子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間			
4	身体と病 諸文化における身体、病のあり方についてグループディスカッション	講義	宮林郁子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間			
5	死と葬送 諸文化における死や葬送のあり方についてグループディスカッション	講義	宮林郁子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間			
6	宗教と科学技術 宗教のあり方と科学技術との関わり	講義	宮林郁子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間			
7	ジェンダー文化 ジェンダー文化とはどのようなものか	講義	宮林郁子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間			
8	まとめ 人間と文化の洞察、まとめ	講義	宮林郁子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間			
<b>成績評価方法・基準</b>		授業中に提出する小レポート5割、レポート5割により評価する。						
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。						
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		担当教員が随時、紹介する。						
<b>参考書</b>		担当教員が随時、紹介する。						
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。						
<b>オフィスアワー</b>		講義日：木、金曜日 16:30~17:30						
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示						
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>								

科目ナンバー		1004B			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
4	法律と医療	1単位	15時間	選択	講義	1年	後期
責任者		網谷聡子		担当者	網谷聡子		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>法律がより良い医療・看護を実現していく社会的な仕組みであることを理解する。法的思考、法の観点から医療・看護を見るときポイントの学び、法的な観点から看護活動を省みる素地を養う。また、憲法、刑法、民法といった基本的な法の位置づけと概要を理解する。医療法、保助看法そして医師法にも触れ、医療・看護の場面、社会生活にこれらの法が実際にどのように機能するのかを学修する。</p> <p>授業は講義形式であるが、講義の主題に関するテーマについて事前の学習課題を提示し、ディスカッションタイムを設ける。積極的に自分の考えや疑問を発言し、日常生活における多様な問題を法的な観点で考え、自らの言葉で発言できる力を身につける。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
<input type="radio"/> DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 法律がより良い医療・看護を実現していく社会的な仕組みであることを説明できる  2) 法的思考、法の観点から医療・看護を見るときポイントの学び、法的な観点から看護活動を省みることができる  3) 憲法、刑法、民法といった基本的な法の位置づけと概要を説明することができる  4) 医療・看護の場面、社会生活に、医療法、保助看法、医師法が実際にどのように機能するのかを説明することができる			
<input checked="" type="radio"/> DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
<input type="radio"/> DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
<input type="radio"/> DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
<input type="radio"/> DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
<input type="radio"/> DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	法律と医療：授業ガイダンスと導入 人間の生活と法律 法の基礎知識	講義	網谷聡子	法律と医療の内容を確認 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
2	健康支援と法律 健康支援に関する法規の分類	講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
3	看護職員に関する法律 保健師助産師看護師法 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
4	医療提供に関連する法律 医療法 個人情報の保護に関する法律ほか 医療職・社会福祉職、そのほか関連職に関する法律 医師法 ほか	講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
5	疾病予防・健康増進に関する法律 母子に関する法律 社会福祉および障害者に関する法律	講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
6	医療保険に関する法律 医薬品・医療機器・食品等に関連する法律	講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
7	労働に関する法律 その他医療に関する法律	講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
8	「法律と医療」まとめ (45分講義)	講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
<b>成績評価方法・基準</b>		評価方法：筆記試験(80%)、課題レポート(20%)					
<b>課題に対するフィードバック</b>		質問や意見は、講義中に学生全員が共有し、解決できるようにする。講義終了後は、個別対応する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○健康支援と社会保障制度④ 関係法規 メチカルフレンド社					
<b>参考書</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>		医療関係の顧問弁護士としての法務の実務経験を活かして、講義を行う。					

科目ナンバー		1005B			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
5	日本国憲法	2単位	30時間	選択	講義	1年	前期
責任者		網谷聡子		担当者	網谷聡子		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>日本国憲法の基礎的知識、とくに基本的人権の内容と意義、統治機構の基本原則と司法権・違憲審査制について学修する。基本概念・判例等の基礎的知識を獲得し、知識を活用して社会における多様な問題を、日常生活との関わりから捉え、憲法に関わる問題を独力で解き、自らの言葉で発言できる力を養う。</p> <p>授業は講義が主体となるが、テーマを指示して定期的に討議を行う。自分なりの意見をもって、主体的・積極的な姿勢での参加を期待する。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
<input checked="" type="radio"/> DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 日本国憲法の存在意義を理解し、あらゆる人々の生命、人権を擁護することの重要性を説明できる 2) 日本国憲法の基本概念・判例等の基礎的知識を説明できる 3) 学んだ知識について自分自身の身近な生活における課題に適用し、自らの言葉で発言できる			
<input type="radio"/> DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
<input type="radio"/> DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
<input type="radio"/> DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
<input type="radio"/> DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
<input type="radio"/> DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容			方法	担当者	予習・復習(学習課題)	
1	日本国憲法：授業ガイダンス 憲法とは何か：国家と法			講義	網谷聡子	日本国憲法の学修内容を確認 授業での学びを整理する	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
2	憲法とは何か：民主主義と立憲主義			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
3	基本的人権とその制約原理			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
4	社会権：生存権 教育を受ける権利			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
5	出生前検査の課題			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
6	社会権：労働者の権利			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
7	表現の自由			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
8	自己決定とは何か：法律上の根拠と内容 自己決定権と未成年の人権・保護			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
9	自己決定と診療			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
10	自己決定権 安楽死と尊厳死問題			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
11	信仰の自由：宗教的理由による輸血拒否事例			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
12	法の下での平等とは：様々な平等			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
13	法の下での平等とは：具体事例			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
14	精神的自由権：経済的自由権とその制約			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
15	平和主義			講義	網谷聡子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間
<b>成績評価方法・基準</b>		評価方法：筆記試験(80%)、課題レポート(20%)					
<b>課題に対するフィードバック</b>		質問や意見は、講義中に学生全員が共有し、解決できるようにする。講義終了後は、個別対応する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>参考書</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。					

オフィスアワー その他	担当者連絡先（非常勤の場合は、教務課へ連絡） メールアドレス : 後日提示
教員の実務経験と授業内容の関連	法務の実務経験を活かして、講義を行う。

科目ナンバー		1006B			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
6	社会と人間の行動	1単位	15時間	選択	講義	1年	前期
責任者		種田博之		担当者	種田博之		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>社会学的な視点や社会学の基礎概念や理論について学修し、社会学的なものの方、理論やモデルを用いて社会における人間の社会的行動の特徴を理解する。また、社会現象について多面的に検討し、人間の柔軟な発想や思考力、社会の常識や支配的なものの方を疑う姿勢、問題を分析する力を養う。</p> <p>授業は講義形式で、事前・事後の学習課題と関連付けて講義を行う。日常生活や社会生活における人間の行動をよく観察し、講義の授業内容と関連付けて発展的な学びとなることを期待する。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
<input type="radio"/>	D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる	1) 人間の行為のあり方について説明ができる(自分の行為がどのような帰結をうむのかについての想像力を身につけることができる)。 2) 社会がどのように構成されているかについて説明できる。 3) 人間と社会の関係—その関係がどのようなものであり、どのようにして構成されてきているのかについて説明できる。					
<input type="radio"/>	D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる						
<input type="radio"/>	D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる						
<input type="radio"/>	D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる						
<input type="radio"/>	D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる						
<input type="radio"/>	D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	イントロダクション	講義	種田博之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：0.5時間	事後学習：0.5時間	
2	社会的認知(フレーム)	講義	種田博之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
3	ジェンダー/権力/感情労働	講義	種田博之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
4	行為の準拠点(モデルとライバル、準拠集団)	講義	種田博之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
5	集団と組織(官僚制/マクドナルド化)	講義	種田博之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
6	日常の秩序と演技	講義	種田博之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
7	逸脱	講義	種田博之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
8	意図せざる結果(予言の自己成就、社会的ジレンマ)	講義	種田博之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
<b>成績評価方法・基準</b>		筆記試験(100%)、100点中60点以上を合格とする。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		使用しない。					
<b>参考書</b>		授業で提示する。					
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1007A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
7	心のしくみと行動	2単位	30時間	必修	講義	1年	前期
責任者		松尾太加志		担当者	松尾太加志		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>行動から人間の内面の心理を推測する方法を駆使することを通して、行動の科学としての心理学の基本的な考え方について学修する。教育心理学・社会心理学・臨床心理学・発達心理学・医療心理学等の代表的な実験や調査などを紹介しながら、人間や自分についての理解を深め、人間に対する幅広い視点を育てる。</p> <p>主に講義形式で授業を進めるが、日常生活における身近な現象を例示して進める。また、簡単な実験を取り入れた演習も行い、理解度を高めるようにする。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
○	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) 心理学の基本的考え方について説明できる			
○	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) 心とからだのつながり、関係について説明できる			
○	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) 知覚、記憶、言語など認知に関する基本的事項を説明できる			
○	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) 欲求と動機付け、葛藤、ストレス、学習など行動に関する基本的事項を説明できる			
○	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる			5) 臨床の場で心理学を活用することについて説明できる			
○	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	看護における人間理解 ・人間理解と心理学 ・科学としての心理学	講義	松尾太加志	「心のしくみと行動」の学修内容を確認 授業での学びを整理する	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
2	看護における人間理解 ・心理学における心とからだ	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
3	認知からの人間理解 ・感覚、知覚と心理的環境 ・記憶と想起	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
4	認知からの人間理解 ・記憶と想起 ・言語とコミュニケーション	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
5	行動からの人間理解 ・欲求と動機付け ・葛藤とフラストレーション	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
6	行動からの人間理解 ・葛藤とフラストレーション ・学習と行動	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
7	発達からの人間理解 ・発達段階と発達課題 ・乳幼児期から青年期	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
8	発達からの人間理解 ・発達段階と発達課題 ・成人期から老年期	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
9	パーソナリティからの人間理解 ・パーソナリティとは ・知能の理解	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
10	パーソナリティからの人間理解 ・性格の理解 ・自己と自己意識	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
11	人間関係からの人間理解 ・対人認知と対人関係	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
12	人間関係からの人間理解 ・集団と組織 ・社会と文化	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
13	心理臨床からの人間理解 ・ストレスとコーピング	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
14	心理臨床からの人間理解 ・適応のメカニズム ・カウンセリングと心理療法	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
15	看護に活かす心理学	講義	松尾太加志	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	

成績評価方法・基準	評価方法:筆記試験(80%)、課題レポート(20%)
課題に対するフィードバック	質問や意見は、講義中に学生全員が共有し、解決できるようにする。講義終了後は、個別対応する。
教科書 ※教科書には○を記載	○心理学 [カレッジ版] 医学書院 ISBN 978-4-260-02870-7
参考書	担当教員が随時、紹介する。
参考文献	担当教員が随時、紹介する。
オフィスアワー	担当者連絡先 (非常勤の場合は、教務課へ連絡)
その他	メールアドレス : 後日提示
教員の実務経験と授業内容の関連	

科目ナンバー		1008B			実務経験のある教員等の有無		無	
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期	
8	文化人類学	1単位	15時間	選択	講義	1年	後期	
責任者		緒方良子		担当者	緒方良子			
<b>授業の概要(授業の目的)</b>								
<p>「人間」の文化的・社会的側面を考える文化人類学・社会人類学を内包する。自然人類学の諸側面および文化人類学の初歩として、文化・社会と人間の生活、性、病気等との関連を学修する。ヒト・人間を対象とする学生が生物としての「ヒト」と独自の文化をもつ「人間」についての理解を深め、医療人に要求される多様なものの見方や考え方を養う。授業は講義形式で進めるが、発問をQRコード・URLからの回答を求め、講義にフィードバックさせる。</p>								
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>					<b>学修の到達目標</b>			
○	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 文化・社会と人間の生活についての関連を説明できる			
○	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる				2) 文化・社会と健康・医療についての関連を説明できる			
○	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる				3) 文化・社会と生命の多様性について説明できる			
○	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる				4) 文化人類学における宗教について考え、宗教と社会、文化との関係を説明できる			
○	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
◎	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>								
回	授業内容			方法	担当者	予習・復習(学習課題)		
1	コースオリエンテーション：看護の視点で学ぶ文化人類学について 「人間と文化」 ・文化人類学における文化 ・文化人類学とはどのような学問か			講義	緒方良子	文化人類学の学修内容を確認 授業での学びを整理する	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間	
2	・個人と社会：個人という概念 社会における個人 ・家族、家族を超えたつながり			講義	緒方良子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間	
3	人生と通過儀礼 ・通過儀礼と協会理論 ・ライフサイクルと境界理論 ・儀礼の構造			講義	緒方良子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間	
4	宗教と世界観 ・文化人類学と宗教 ・トランスナショナル時代における宗教と世界観			講義	緒方良子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間	
5	健康と文化 ・医療の体系 ・環境と健康			講義	緒方良子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間	
6	健康と文化 ・環境のグローバル化がもたらす健康リスク			講義	緒方良子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間	
7	いのちと文化 ・いのちの多様性 ・誕生と死における人の生命			講義	緒方良子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間	
8	(授業時間45分) 「文化人類学」の授業まとめ			講義	緒方良子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：0.5時間	
<b>成績評価方法・基準</b>		評価方法：筆記試験(80%)、課題レポート(20%)						
<b>課題に対するフィードバック</b>		質問や意見は、講義中に学生全員が共有し、解決できるようにする。講義終了後は、個別対応する。						
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		使用しない。						
<b>参考書</b>		授業で提示する。						
<b>参考文献</b>		授業で提示する。						
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)						
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示						
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>								

科目ナンバー		1009A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
9	発達教育論	1単位	15時間	必修	講義	1年	前期
責任者		税田慶昭		担当者	税田慶昭		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
人間の成長と発達を生涯発達の観点で捉え、ライフサイクルにおける認知機能の発達や学習理論に基づく人間の思考や行動の特徴について学修する。また、学習理論に基づいて人間の成長発達を促す教育の在り方を理解し、教育支援の基礎的能力を養う。 授業は講義形式で進める。発達段階別に課題を提示し、ディスカッションを行う。複数回のレポート提出を求め、総合評価の一部とする。講義の学びや疑問・意見などを、QRコードを用いて回答を求め、講義内容の理解度を確認する。理解度が低い内容や質問について、講義のなかで解説を加え、理解を深める。							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
○ DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 各発達段階と課題について理解し、説明できる  2) 幼児、児童、生徒の心身の発達を踏まえ、教育における発達理解の意義を説明できる  3) 主体的学習の動機付け、集団づくりなどについて、発達の特徴と関連づけて説明できる			
○ DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
○ DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
○ DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
○ DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
○ DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	ガイダンス：教育における発達理解の意義	講義	税田慶昭	発達教育論の学修内容を確認 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
2	発達段階と発達課題	講義	税田慶昭	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
3	教育とは何か ・現代社会の特徴と教育をめぐる問題 ・教育の歴史 ・教育の制度	講義	税田慶昭	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
4	発達理論にもとづく幼児教育	講義	税田慶昭	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
5	学校教育と心の問題	講義	税田慶昭	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
6	障害児教育の現状と課題	講義	税田慶昭	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
7	生涯学習の必要性 ・成人のための教育学 ・成人学習の目的と方法	講義	税田慶昭	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
8	(45分授業) 発達教育論のまとめ	講義	税田慶昭	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：0.5時間	
<b>成績評価方法・基準</b>		評価方法：筆記試験(80%)、課題レポート(20%)					
<b>課題に対するフィードバック</b>		質問や意見は、講義中に学生全員が共有し、解決できるようにする。講義終了後は、個別対応する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○藤村 宣之 編著 「発達心理学[第2版]:周りの世界とかわりながら人はいかに育つか」ミネルヴァ書房 出版年月日 2019年01月20日					
<b>参考書</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス			後日提示		
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1010A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
10	人間関係論	2単位	30時間	必修	講義	1年	前期
責任者		山川裕子		担当者	山川裕子		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
自己理解を深め、コミュニケーションの基本的知識、技法について学習し、日常の人間関係を良好に保つ能力や社会的スキルを養う。また、感情に基づく人間関係の問題に対処する能力を養い、看護の対象となる人との良好な関係づくりの基盤について学修する。 授業は講義形式とグループワークで進めるが、適宜グループでのコミュニケーションワークを取り入れる。そのワークを振り返り、レポートを作成し提出を求める。総合評価の一部とする。							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 自己理解を深め、コミュニケーションの基本的知識、技法を身につける。 2) 自己と他者との人間関係を良好に保つために社会的スキルを学習する。 3) 看護の対象となる人との良好な関係づくりの基盤ができる。			
DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
DP-4 ◎ 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	授業ガイダンス 人間関係とは	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：0.5時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：0.5時間
2	現代社会の人間関係	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
3	人間関係と心理 自己と他者の関係を知る	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
4	人間関係と発達 発達に関わる様々な問題	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
5	人間関係と教育 学校における人間関係	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
6	初対面の人との関わり	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
7	ネット社会の人間関係	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
8	中間まとめ	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
9	職場の人間関係	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
10	多様な人間関係1	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
11	多様な人間関係2	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間

12	多様な人間関係3	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
13	多様な人間関係4	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
14	ハラスメントについて	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
15	まとめ	講義	山川裕子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		授業中に提出する小レポート5割、レポート5割により評価する。			
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。			
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		服部祥子著、人を育む人間関係論・2003年・医学書院・ISBN 978-4-260-33279-8			
<b>参考書</b>		担当教員が随時、紹介する。			
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。			
<b>オフィスアワー</b>		講義日、木、金曜日 16:30~17:30			
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示			
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>					

科目ナンバー		1011B			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
11	物理学の基礎	1単位	15時間	選択	講義	1年	後期
責任者		門野敏彦		担当者	門野敏彦		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
運動、エネルギー、圧力、熱等の物理学の基本的な考え方について学修し、身の回りの現象や看護の動作におけるボディメカニクス、吸引やドレナージ等の医療機器に関連する圧力や力学等、看護行為の理解のために、そのメカニズムを物理学的に理解し深める。授業は講義を短時間組み込み、理解を深める。事後に学習課題としてレポート作成し提出を求める。							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
	D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる	物理学で使う単位を自由自在に換算できる能力、身近な運動や身の周りの現象を力学の手法で解析する能力(三角関数・微分・積分を使用)等を身につけることを一般的な行動到達目標とする。単位換算が自由自在にできる。 1) 速度、加速度、位置の関係がそれぞれ微分と積分の関係にあることを理解して問題を分析できる。 2) 運動の3法則が、身の周りのどの現象にどのように働いているのかを理解し問題を解析できる。 3) エネルギーが形を変えることを理解し、力学的エネルギー保存則を使って身近な運動を解析できる。 4)					
	D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる						
	D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる						
	D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる						
	D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる						
	D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	実力テスト	講義	門野敏彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：0.5時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：0.5時間
2	物理量と単位	講義	門野敏彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
3	力学1(並進運動：力、運動量・エネルギー)	講義	門野敏彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
4	力学2(回転運動：力のモーメント、角運動量)	講義	門野敏彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
5	波動(音波、フーリエ変換)	講義	門野敏彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
6	光(エネルギーと波長、輝線、散乱と吸収)	講義	門野敏彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
7	熱力学(エネルギーの保存則、エントロピー)	講義	門野敏彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
8	流体力学(定常流、層流と乱流)	講義	門野敏彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		出席、参加の姿勢及び筆記試験の結果を総合して、60点以上を合格とする。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		プリントを配布する。					
<b>参考書</b>		授業で提示する。					
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1012B			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
12	生物学	2単位	30時間	選択	講義	1年	前期
責任者		野口俊介		担当者	野口俊介		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>看護の基盤となる命の営みを学ぶ基礎知識として、人間や動物、植物、微生物等の細胞の構造とその機能、遺伝情報の伝達と発現、生殖や動物の身体を構成する器官、生物と環境の関係について学修する。生物が遺伝情報をもとに作り上げられるしくみや進化するしくみ、ウイルスや遺伝子組み換え作物、再生医療等、私たちの生活や社会に関わる問題につなげる。</p> <p>授業は講義形式を主体とするが、発問やグループディスカッション行う。また、事前・事後の学習課題としてレポート提出を求める。総合評価の一部とする。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
<input type="radio"/> D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 生物体の構造、はたらき、環境との関わりを理解する。  生命体の基本単位であるとされる「細胞」の構造と機能、生命活動に必須のエネルギー調達機構、遺伝子とそのはたらき、細胞の増殖、分化の機構、生体の機能と調節機構、非自己に対する反応、バイオテクノロジーと医療について、細胞レベル、分子レベルで理解する。			
<input type="radio"/> D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
<input type="radio"/> D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
<input type="radio"/> D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
<input type="radio"/> D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
<input type="radio"/> D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容			方法	担当者	予習・復習(学習課題)	
1	生物学の基礎、細胞			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：0.5時間 事後学習：0.5時間
2	生物を構成する物質			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
3	栄養と代謝			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
4	遺伝とDNA			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
5	遺伝情報の発現			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
6	細胞の増殖と死			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
7	生殖、発生、分化			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
8	動物の組織			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
9	動物の器官			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
10	ホルモンと生体調節			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
11	神経系			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
12	免疫			講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間

13	微生物と感染症	講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
14	生命システムの破綻：癌と老化	講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
15	バイオテクノロジーと医療	講義	野口俊介	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		試験は中間と終了の2回行う。中間試験・終了試験の平均点を最終評価とし、60点以上を合格とする。成績不良者については追加の試験を行う場合もある。			
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。			
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○田村隆明：医療・看護系のための生物学、最新版、裳華房			
<b>参考書</b>		岡田隆夫：解剖生理や生化学をまなぶ前の楽しくわかる生物・化学・物理、最新版、羊土社、遠山 益 編著：分子・細胞生物学入門、最新版、朝倉書店、石原 勝敏 編著：図説発生生物学、最新版、丸善株式会社、横田 崇：再生医学がわかる、最新版、羊土社			
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。			
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先（非常勤の場合は、教務課へ連絡）			
<b>その他</b>		メールアドレス： 後日提示			
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>					

科目ナンバー		1013B			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
13	化学	1単位	15時間	選択	講義	1年	前期
責任者		森井宏幸		担当者	森井宏幸		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
物質を構成する粒子（原子、分子、イオン等）や化学結合、化学反応等、それらの事象・現象が物質の性質にどのように関係しているのか、人間の生活にどのように役立っているのかを学修する。また、生活を支える物質やその使用等により生命、健康、環境に及ぼす影響について学修する。これらの学びを通して専門科目の理解および看護職者として生命現象や医療技術に関する生体関連の物質の性質を考慮し適切な行動がとれるよう必要な知識を学修する。							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 溶液の濃度計算ができる。 2) 化学反応と化学平衡について説明できる。 3) 無機物質を周期表と関連づけて説明できる。 4) 有機化合物の構造について説明できる。 5) 生体物質（糖質、タンパク質、脂質）の性質について説明できる。			
D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	身のまわりの化学・化学の単位と元素の周期表	講義	森井宏幸	教科書(第1、2章)を読む	事前学習：1時間	配付資料を読み講義内容の復習	事後学習：1時間
2	物質の状態	講義	森井宏幸	教科書(第3、4、5章)を読む	事前学習：1時間	配付資料を読み講義内容の復習	事後学習：1時間
3	演習(1)・解説	講義	森井宏幸	配付資料と教科書(第1～5章)を読む	事前学習：1時間	配付資料を読み講義内容の復習	事後学習：1時間
4	化学反応・化学平衡	講義	森井宏幸	教科書(第6、8章)を読む	事前学習：1時間	配付資料を読み講義内容の復習	事後学習：1時間
5	無機化学・有機化学	講義	森井宏幸	教科書(第10、11章)を読む	事前学習：1時間	配付資料を読み講義内容の復習	事後学習：1時間
6	高分子化学(糖質、タンパク質、脂質)	講義	森井宏幸	教科書(第12章)を読む	事前学習：1時間	配付資料を読み講義内容の復習	事後学習：1時間
7	演習(2)	演習	森井宏幸	配付されたすべての講義資料を読む	事前学習：1時間		事後学習：0時間
8	演習(2)解説	講義	森井宏幸	配付されたすべての講義資料を読む	事前学習：1時間	配付資料を読み講義内容の復習	事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		演習(約30%)、定期試験(約70%)で60点以上を合格とする。演習と定期試験の評価割合は問題の内容により変わる。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○奈良雅之著「系統看護学講座 基礎分野 化学」最新版(医学書院) ISBN:978-4-260-03181-3、このほか独自に作成した資料を配付する。					
<b>参考書</b>							
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1014A			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
14	環境と健康	2単位	30時間	必修	講義	1年	前期
責任者		八谷百合子		担当者	八谷百合子、原邦夫		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>環境には社会環境と自然環境がある。環境は人間の健康に影響を及ぼす要因であり、人間が生命を維持し、疾病の予防や回復、健康の保持・増進するためには生活環境をまず整える必要がある。人々の健康状態と環境との関わりを探ることによって、健康を悪化させ、病気の発生に関与する環境要因を見出し、その環境要因を取り除き、あるいは減らすことによって、健康悪化や疾病発生の予防につながる事が期待される。看護は人間の健康に焦点を当て、人間と環境に働きかける活動である。「環境と健康」について多面的に学び、看護学を学修するための基礎とする。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
◎	D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる	1) 看護の専門職として知っておくべき「健康の社会的決定要因」を考え、 <b>アセスメントの視点を説明することができる。</b> 2) 生態系汚染を含む地球環境問題と地域環境問題としての公害の歴史を説明できる。 3) 工場内の環境問題・働く人の健康問題や住居の健康問題の基本を説明できる。 4) 環境基準などを含めた法規制と企業等の社会的責任の基本を説明できる。 5) 大気・水質の保全や廃棄物問題について対策処理の基本を説明できる。 6) 地震を含めた自然災害時の健康問題と対策の基本を説明できる。					
	D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる						
○	D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる						
	D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる						
	D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる						
	D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	地球の成り立ちと生態系および人健康の社会的決定要因 ・家族・コミュニティ・社会制度・地球環境と健康	講義	八谷百合子	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：0.5時間 事後学習：0.5時間		
2	地球環境問題(1) __地球温暖化 ・二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )やメタンなどの赤外線吸収 ・動植物の生態系の変化	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
3	地球環境問題(2) __脱炭素社会 ・様々な再生エネルギー __太陽光発電・風力発電・地熱発電 ・電気自動車・食品油を使ったジェット燃料	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
4	地球環境問題(3) __生物多様性や海洋汚染 ・外来生物 ・マイクロプラスチック・ペットボトルや包装容器	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
5	地域環境問題(1) __公害の歴史(典型7公害等)と水質環境問題の水俣病とイタイイタイ病 ・大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・悪臭 ・水俣病とイタイイタイ病	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
6	地域環境問題(2) __大気汚染問題の四日市ぜんそく世界的なPM <sub>2.5</sub> 汚染 ・コンビナートによる工場の集中と大気汚染 ・空气中微小粒子のPM <sub>2.5</sub>	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
7	地域環境問題(3) __廃棄物問題_食品ロスやリサイクル ・廃棄物処分場 ・リサイクル	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
8	工場内や住居の環境問題(1) __がんや中毒などの労働災害 ・職業がん ・公害と職業病	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
9	工場内や住居の環境問題(2) __シックハウスや寒暖差問題 ・室内空気汚染 ・WHOによる18℃推奨	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
10	工場内や住居の環境問題(3) __排水・排ガスの処理方法 ・排水処理 ・排ガス処理	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
11	工場内や住居の環境問題(4) __公害防止の法規制と企業の社会的責任 ・環境基本法 ・環境マネジメントシステム	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
12	自然災害時の健康問題(1) __災害時の健康維持 ・上水道の仕組み ・飲料水やトイレの確保	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
13	自然災害時の健康問題(2) __石綿(アスベスト)も含めた廃棄物処理問題 ・倒壊家屋からの石綿の飛散 ・大量の廃棄物の発生	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		
14	地域社会と健康問題(1) __少子化に伴う地域社会の健康問題_空き家や野獣被害 ・里山と熊 ・空き家と地域活性化	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間		

15	地域社会と健康問題 (2) __少子化に伴う地域社会の健康問題__食糧確保と健康な食べ物 ・種子の海外流出 (遺伝子) ・食糧確保	講義	原邦夫	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>	レポート・発表(20%)、期末試験(80%)、合計で60点以上を合格とする。				
<b>課題に対するフィードバック</b>	レポート・発表については、教員がコメント等フィードバックをする。				
<b>教科書</b> ※教科書には○を記載 <b>参考書</b> <b>参考文献</b>	特になし 参考書ではないが、Web上の「環境用語集   EICネット」( <a href="https://www.eic.or.jp/ecoterm/">https://www.eic.or.jp/ecoterm/</a> ) など 特になし				
<b>オフィスアワー</b> <b>その他</b>	担当者連絡先 (非常勤の場合は、教務課へ連絡) メールアドレス : 後日提示				
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>	非営利団体での環境測定ならびに研究者としての実務経験を活かして、講義を行う。(原)				

科目ナンバー		1015A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
15	情報処理 I	1単位	15時間	必修	講義	1年	前期
責任者		吉江修		担当者	吉江修		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>情報 I リテラシーでは、情報を主体的に安全に選択、収集、活用、編集、発信する能力を養う。大学での課題や研究活動、そして将来の看護実践で役立つ情報リテラシーを総合的に身につける。情報倫理、セキュリティ等ネットワーク社会に必要な知識とスキル、モラルについて学修する。</p> <p>授業は講義形式が主になるが、前後に学習課題を提示する。演習後は振り返りのレポート提出を求める。総合評価の一部とする。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
	D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) 情報社会におけるモラルや法について理解し、日常生活において活用できる。			
	D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) インターネットの仕組みや脅威を理解し、セキュリティの考え方や関連技術を説明できる。			
	◎ D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) コンピュータの構成、動作原理、周辺機器の働きが理解できる。			
	D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) コンピュータで扱う情報の形態、収集方法、技術が理解できる。			
	○ D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる			5) 最新のICT技術の動向と役割を述べる事ができる。			
	○ D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる			6)			
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	情報通信ネットワーク	講義	吉江修	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：0.5時間	事後学習：0.5時間	
2	電子メールとインターネットの仕組み、クラウドコンピューティング	講義	吉江修	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
3	情報社会の移り変わり	講義	吉江修	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
4	コンピュータと情報処理	講義	吉江修	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
5	情報デザイン	講義	吉江修	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
6	情報通信セキュリティ	講義	吉江修	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
7	知的情報処理	講義	吉江修	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
8	産業界における情報通信技術応用	講義	吉江修	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間	事後学習：1時間	
<b>成績評価方法・基準</b>		小レポート(30%)、定期試験(70%)、合計で60点以上を合格とする。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		講義資料を配付					
<b>参考書</b>		藤原新之助「ゼロから始める情報I」最新版(株式会社KADOKAWA) ISBN:9784046055637 丹羽信夫「理解するほどおもしろい!パソコンのしくみがわかる本」最新版(技術評論社) ISBN:9784774186566					
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1016A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
16	情報処理Ⅱ	1単位	15時間	必修	講義・演習	1年	後期
責任者		立野繁之		担当者	立野繁之		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>統計学の基礎的知識を学び、統計データを活用した情報をエクセルなどの表計算ソフトにより解析し、図表作成や統計処理（基本統計量、相関係数、回帰分析等）を行える技能を習得する。その後、データ収集・集計・分析の実践を通して、論理的思考に基づいた考察方法、科学的な日本語技法、効果的なプレゼンテーション技法、分析結果の表現技法を理解する。さらに、統計解析の結果からその意味をまとめてレポート作成し情報処理能力を養う。</p> <p>授業は講義形式とPCを用いた演習を組み入れて進行する。学習課題はPC操作を用いた行う内容を主とする。課題の成果は総合評価の一部とする。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) コンピュータの基本構成が理解できる。			
D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる				2) ワードソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの機能を自由に利用できる。			
◎ D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる				3) 目的に応じてデータ収集を行い、科学的考察に基づき適切に分析することができる。			
D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる				4) 効果的なプレゼンテーション技法によって分析結果を明確に説明することができる。			
○ D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる				5) グループ活動において論理的思考にもとづいた多角的な討議ができる。			
○ D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる				6)			
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	ガイダンスとグループ分け コンピュータの基本操作 Microsoft365の使い方	講義	立野繁之	指示されたテキスト・講義資料を読む	事前学習：0.5時間	テキスト・講義資料・ノートで復習	事後学習：0.5時間
2	MS Word 基本操作	講義	立野繁之	指示されたテキスト・講義資料を読む	事前学習：1時間	テキスト・講義資料・ノートで復習	事後学習：1時間
3	MS Excel 基本操作	講義	立野繁之	指示されたテキスト・講義資料を読む	事前学習：1時間	テキスト・講義資料・ノートで復習	事後学習：1時間
4	MS PowerPoint 基本操作 情報デザインの基礎	講義	立野繁之	指示されたテキスト・講義資料を読む	事前学習：1時間	テキスト・講義資料・ノートで復習	事後学習：1時間
5	情報デザイン演習1 (Officeの連携)	講義	立野繁之	指示されたテキスト・講義資料を読む	事前学習：1時間	テキスト・講義資料・ノートで復習	事後学習：1時間
6	情報デザイン演習2 (マルチメディア)	講義	立野繁之	指示されたテキスト・講義資料を読む	事前学習：1時間	テキスト・講義資料・ノートで復習	事後学習：1時間
7	変数の関連性 データを使った演習	講義	立野繁之	指示されたテキスト・講義資料を読む	事前学習：1時間	テキスト・講義資料・ノートで復習	事後学習：1時間
8	グループテーマの課題決定とデータ収集・整理	講義	立野繁之	指示されたテキスト・講義資料を読む	事前学習：1時間	課題の準備	事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		パソコンスキル(30%)、受講姿勢(20%)、課題レポート(50%)、合計で60点以上を合格とする。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○杉本くみ子, 大澤栄子; 「30時間アカデミックOffice2021」; 2022年; 実教出版; ISBN-13:978-4407359435					
<b>参考書</b>		適宜、講義資料を配付					
<b>参考文献</b>		その他、Microsoft Officeソフト (Word、PowerPoint、Excel) を活用した実践的演習のため、これらの基本的な操作は習得済みであることが望まれる。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先 (非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1017A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
17	スタディスキル	1単位	15時間	必修	講義	1年	前期
責任者		宗正みゆき		担当者	宗正みゆき、浦綾子、山本博美、光根美保、小野織江、柴田裕子、佐藤麻記子		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>大学教育への導入として学生に必要不可欠な文章講読、文献や資料の検索、要約の方法、文章表現、レポート作成、プレゼンテーション、議論、発表等に関する基本的な学習スキルを習得する。グループワーク形式で学び合い、共同学習によりコミュニケーション能力を養う。</p> <p>授業は演習を主にして進行する。学生の主体的な学習活動を促し、学習活動のテーマは、学生が興味・関心をもつ内容を、各自で設定して進める。学習課題の成果は総合評価の一部とする。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
○	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる	1) 基本的な学習スキルを習得することができる。 2) 共同学習によりコミュニケーション能力を養う。 3) 学生の主体的な学習活動を行う。					
○	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる						
○	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる						
○	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる						
○	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる						
○	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	大学について知る 建学の精神「人間の尊厳を尊重する心を重んじ、高い倫理観と心豊かな人間性の涵養を図るとともに、看護学に関する専門性を追求し、健康科学の発展と地域医療や社会福祉へ貢献し続けることを建学の精神とする。」	講義	各担当者	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習:0.5時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習:0.5時間
2	情報リテラシー 課題解決のための検索方法	講義	各担当者	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習:1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習:1時間
3	大学での学修の基本 ノートのとり方 レポートの書き方 図書館の利用法	講義	各担当者	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習:1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習:1時間
4	レポート作成 自分を紹介する 他人を紹介するレポート作成	講義	各担当者	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習:1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習:1時間
5	チームワーク プレゼンテーション 身近で親しみやすい話題を取り上げ、異なる学部の学生とチームを組み発表や討論の技術・方法を学ぶ。	講義	各担当者	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習:1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習:1時間
6	チームワーク プレゼンテーション 身近で親しみやすい話題を取り上げ、異なる学部の学生とチームを組み発表や討論の技術・方法を学ぶ。	講義	各担当者	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習:1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習:1時間
7	レポート発表会	講義	各担当者	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習:1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習:1時間
8	領域横断的な学問 異なる学問視点から共通のテーマについて	講義	各担当者	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習:1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習:1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		ゼミ活動(ゼミ活動内のレポート評価を含む)(60%)、報告会および最終レポート評価(40%)により評価する。最終レポートの課題は、授業内で説明する。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		担当教員が必要時、紹介する。					
<b>参考書</b>		担当教員が必要時、紹介する。					
<b>参考文献</b>		担当教員が必要時、紹介する。					
<b>オフィスアワー</b>		講義日: 木、金曜日 16:30~17:30					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1018A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
18	ウェルネススポーツ	2単位	45時間	必修	講義・演習	1年	前期
責任者		手嶋孝司		担当者	手嶋孝司		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>ウェルネスとはWHO（世界保健機関）の健康の定義「健康とは、完全な身体的、精神的および社会的幸福な状態のことであり、単に疾病または病弱の存在しないことではない」に加え、健康を目指すための運動や食事などの生活習慣に気をつけ健康増進を進めていくという行動も意味に含まれている。自身の健康や生活行動、体力レベルをチェックし、生活の質（Quality of Life, QOL）を向上するための健康的な生活習慣づくりや健康を維持・増進するために必要な運動・スポーツの科学的知識の理解を深めるとともに、日常生活に健康行動を取り込むための実践方法を学ぶ。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
	D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) ウェルネスについて理解し、説明することができる			
	D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) 健康に関する知識・理解を深め、健康行動が心身にもたらす効果を説明することができる			
	D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) 楽しく安全に運動・スポーツを実践することができる			
	D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) 自身に適した健康行動を日常生活に導入することができる			
◎	D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる						
	D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心をもち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	オリエンテーション ウェルネス志向社会とこれからの健康・運動・スポーツ	講義・演習	手嶋孝司	授業テーマについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
2	健康・生活行動・体力のチェック コミュニケーションゲーム(アイスブレイキング)	講義・演習	手嶋孝司	次回授業テーマについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
3	「運動とからだの健康」運動の身体的効果 ウォーキング・ジョギング	講義・演習	手嶋孝司	次回授業テーマについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
4	「運動と心の健康」気分転換・ストレス解消法としての運動 体ほくしの運動	講義・演習	手嶋孝司	次回授業テーマについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
5	「健康のための生活習慣」コーディネーショントレーニング	講義・演習	手嶋孝司	次回授業テーマについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
6	「発育・発達と老化」(ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイル) 伝承遊び	講義・演習	手嶋孝司	次回授業テーマについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
7	スポーツで学ぶチームワークの重要性(コミュニケーション、役割分担、責任、信頼関係) パラバルーン	講義・演習	手嶋孝司	次回授業テーマについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
8	縄遊び(大縄跳び、ダブルタッチ)	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
9	室内バタンク	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容(ゲーム)を振り返りまとめる	事後学習：1時間
10	キャッチング・ザ・スティック	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
11	フライングディスク(ソフトディスク) トッチビー	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容(ゲーム)を振り返りまとめる	事後学習：1時間
12	ソフトバレーボール	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容(ゲーム)を振り返りまとめる	事後学習：1時間
13	インディアカ	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容(ゲーム)を振り返りまとめる	事後学習：1時間
14	バドミントン(基礎技術、ルール) トリプルス、ハーコートシングルスゲーム	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容(ゲーム)を振り返りまとめる	事後学習：1時間
15	バドミントン ダブルス	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容(ゲーム)を振り返りまとめる	事後学習：1時間
16	バレーボール(基礎技術、ルール) 9人制バスケゲーム	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容(ゲーム)を振り返りまとめる	事後学習：1時間
17	バレーボール 6人制	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容(ゲーム)を振り返りまとめる	事後学習：1時間
18	バスケットボール(基礎技術、ルール)	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容を振り返り、まとめる	事後学習：1時間
19	バスケットボール(ゲーム)	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる	事前学習：1時間	授業内容(ゲーム)を振り返りまとめる	事後学習：1時間

20	フットサル（基礎技術、ルール）	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる 授業内容を振り返り、まとめる	事前学習：1時間 事後学習：1時間
21	フットサル（ゲーム）	講義・演習	手嶋孝司	次回の種目・ルールについて調べる 授業内容（ゲーム）を振り返りまとめる	事前学習：1時間 事後学習：1時間
22	サーキットトレーニング	講義・演習	手嶋孝司	次回授業テーマについて調べる 授業内容を振り返り、まとめる	事前学習：1時間 事後学習：1時間
23	体力のチェック 運動処方、まとめ	講義・演習	手嶋孝司	次回授業テーマについて調べる 授業内容を振り返り、まとめる	事前学習：1時間 事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		授業への参加姿勢・態度50%（積極的・協調的な取り組み等）、提出物50%（レポート、振り返りシート、記録票等）を総合的に評価する。			
<b>課題に対するフィードバック</b>		授業中に解説する。			
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		教科書なし。適宜資料を配付する。			
<b>参考書</b>		「実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学」九州大学健康・スポーツ科学研究会編 大修館書店			
<b>参考文献</b>		適宜紹介する。			
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先（非常勤の場合は、教務課へ連絡）			
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示			
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>					

科目ナンバー		1019A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
19	英語 I	1単位	15時間	必修	講義	1年	前期
責任者		十時康		担当者	十時康		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>将来国際人として活躍できるため必要な英語能力を身につけ、異文化に対する認識を深める。職業上必要なコミュニケーション能力の基礎となるListening&amp;Speakingを中心に学習をすすめる、基本的な英語能力の向上をはかるとともに、世界の文化や人々の考え方、自然科学等の幅広いトピックに関する自身の考え方を養う。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 初歩的な英会話を正確な発音・イントネーションでできる。 2) 初歩的な会話のリスニングができる。 3) 一般的な内容の英文を読み正確に理解できる。 4) 文法的に正しい英語を書くことができる。 5) 海外事情を知ることにより、異文化に対する理解を深める。			
D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
D-P6 ◎ 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	ガイダンス	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：0.5時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：0.5時間
2	Unit 1: Woof! I Feel Stress, Too Unit1のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
3	Unit 2: Good for You, Good for the Planet? Unit2のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
4	Unit 3: Magnets for Depression Unit3のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
5	Unit 4: Protect the Reefs! Unit4のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
6	Unit 5: Improving Memory in the Aged Unit5のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
7	Unit 6: Helping Trees Talk to Us Unit6のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
8	Unit 7: Healing with Rice まとめ	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		小テスト(20%)、ペア・グループワークへの参加(20%)、期末テスト(60%)					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○Health & Environment Reports from VOA 4 (松柏社、2020年) ISBN、978-4-88198-754-4					
<b>参考書</b>		参考書がある場合は、適宜授業中に指示する。					
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1020A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
20	英語Ⅱ	1単位	15時間	必修	講義	1年	後期
責任者		十時康		担当者	十時康		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>将来国際人として活躍できるため必要な英語能力を身につけ、異文化に対する認識を深める。基本的な英語能力の向上をはかるとともに、世界の文化や人々の考え方、諸科学の幅広いトピックスに関する自身の考え方を養う。看護専門職として学習や研究を行う上で、Reading&amp;Writingを中心に学修する。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 英会話を正確な発音・イントネーションでできる。 2) 英文記事から適切に内容把握ができる能力を修得する。 3) 国内外の看護・医療事情等に関する問題意識を養うことができる。 4) 看護職の現場で求められる基礎的な英語表現を身につける。			
D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
D-P6 ◎ 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	オリエンテーション	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：0.5時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：0.5時間
2	Unit 8: Helping the Gorillas Unit8のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
3	Unit 9: No More Misinformation Unit9のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
4	Unit 10: No More Mountain Birds? Unit10のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
5	Unit 11: The Growing Problem of Dementia Unit11のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
6	Unit 12: Student Walkouts Unit12のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
7	Unit 13: Immigrants in Health Care Unit13のトレーニング	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
8	Unit 15: See-Through Organs まとめ	講義	十時康	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		小テスト(20%)、ペア・グループワークへの参加(20%)、期末テスト(60%)					
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		Health & Environment Reports from VOA 4 (松柏社、2020年) ISBN. 978-4-88198-754-4					
<b>参考書</b>		参考書がある場合は、適宜授業中に指示する。					
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。					
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡)					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー		1021B			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
21	韓国語	2単位	30時間	選択	講義	1年	前期
責任者		金光子		担当者	金光子		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>韓国のハングル文字の読み書きを覚え言語の構造について学び日常生活に必要な語彙を使いながら韓国語の基礎会話を練習する。さらに基本文法をはじめ、発音のルールを学ぶ。会話に重点を置き、挨拶や充実したコミュニケーションが図れることを目的とし学びを通して、異文化理解を深める。</p> <p>授業では学生の主体的な学習活動を促す。身近な話題や場面を想定して、楽しく学べる内容にする。徐々に自信を持てるように、小グループで学習を反復し、韓国語の基礎力を磨いていく。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) ハングル文字（基本母音字、基本子音字、合成母音字、合成子音字）と発音（終声、連音化など）を正しく読み書きできる。 2) 人称、事物、場所の代名詞、位置関係、用言の丁寧形などの基礎文法と表現を正しく使い、話すことができる。			
D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
D-P6 ◎ 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習（学習課題）			
1	韓国語と日本語の共通点 第1課 ①ハングルの仕組み 第1課 ②基本母音字	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：0.5時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：0.5時間		
2	第2課 子音字	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
3	第3課 子音字（平音・激音・濃音の対応）	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
4	第4課 合成母音字	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
5	第5課 終声（パッチム） 第6課 日本語のハングル表記	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
6	第7課 会話と語彙（私は日本人です） 第7課 文型（「名詞＋です」「名詞＋と申します」、練習問題）	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
7	第8課 会話と語彙（趣味は何ですか） 第8課 文型（「名詞＋です」「名詞＋と申します」、練習問題）	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
8	第9課 会話と語彙（韓国人ではありません） 第9課 文型（「名詞＋ていらっしゃいますか」「名詞＋ではありません」、練習問題）	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
9	第10課 会話と語彙（今日日本にいます） 第10課 文型（「あります/います」「ありますか/いますか」「そこあど」、練習問題）	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
10	総まとめ 第11課 会話と語彙	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
11	第11課 文型（「しています/します」「です/ですか」、練習問題）	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		
12	第12課 会話と語彙	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間		
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間		

13	第12課 文型 (「丁寧形①」「用語の否定形」、練習問題)	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
14	第13課 文型 (「丁寧形②」「し、て」)	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
15	第13課 文型 (「丁寧形②」「し、て」)	講義	金光子	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間
				配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		筆記試験 (60%)、小テスト (20%)、課題 (20%) で、100点満点中60点以上を合格とする。			
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後フィードバックを行う。			
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		オイ・ミョン、イ・ジョンミン著「楽しく学べる韓国語」、最新版、白水社、ISBN-10:4560017913			
<b>参考書</b>		鄭惠賢著「MP3 CD-ROM付きすぐ使える！韓国語フレーズ辞典」、最新版、池田書店、ISBN-10:426216974X			
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。			
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先 (非常勤の場合は、教務課へ連絡)			
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示			
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>					

科目ナンバー		1022B			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
22	中国語	2単位	30時間	選択	講義	1年	後期
責任者		一木達彦		担当者	一木達彦		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
標準中国語について発音と基礎的な文法について学習するとともに、簡単な挨拶や自己紹介、日常会話ができる能力を養う。中国の文化や習慣について理解を深めることを目的とする。授業では学生の主体的な学習活動を促す。身近な話題や場面を想定して、楽しく学べる内容にする。徐々に自信を持てるように、小グループで学習を反復し、中国語の基礎力を磨いていく。							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 中国語の音声を耳で慣れ、正しい発音・イントネーションで初歩的な会話ができる 2) 基本的な文法事項を習得し、中国語で簡単な挨拶や自己紹介ができる。 3) この授業を通じて、中国語のしくみや表現を理解し、また中国人の考え方、生活習慣など中国文化に対する認識も深める。			
D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容			方法	担当者	予習・復習(学習課題)	
1	オリエンテーション・基本母音・特殊な母音・声調			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：0.5時間 事後学習：0.5時間
2	複母音・鼻音(-n,-ng)を伴う母音			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
3	鼻音(-n,-ng)を伴う母音、子音			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
4	講義内容の復習 課題作成、発音の総合練習			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
5	動詞述語文・形容詞述語文			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
6	人称代詞・動詞“是”を使った文			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
7	指示代詞・疑問代詞・反復疑問文			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
8	もの数え方・存在文			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
9	動詞と介詞“在”の用法			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
10	可能の助動詞・必要の助動詞			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
11	願望の助動詞・選択疑問文・連動文			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
12	様態補語・方向補語・使役表現			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
13	結果補語・可能補語・進行表現			講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間

14	経験表現・完了表現	講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間
				配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
15	存現文・“把”構文・持続表現	講義	一木達彦	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習：1時間
				配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事後学習：1時間
<b>成績評価方法・基準</b>		①課題（35%）：練習問題は課題として7回（毎回5点満点）提出する。②小テスト（15%）③口頭発表による定期試験（50%）①+②+③により、			
<b>課題に対するフィードバック</b>		課題は、教員が確認した後にコメント等フィードバックをして返却する。			
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○山田真一著「医療系学生のための初級中国語」（白帝社） ISBN: 978-4-89174-979-8			
<b>参考書</b>		授業中に適宜紹介する			
<b>参考文献</b>		担当教員が随時、紹介する。			
<b>オフィスアワー</b>		担当者連絡先（非常勤の場合は、教務課へ連絡）			
<b>その他</b>		メールアドレス：後日提示			
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>					

科目ナンバー		1024A			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
24	身体のおくみと働き I	2単位	30時間	必修	講義	1年	前期
責任者		橋爪誠		担当者	橋爪誠、久保真一		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>人体を構成する細胞、組織、各器官（呼吸器系、循環器系、運動器系、消化器系など）の正常な構造と形態および機能について、いのちの営みや生活行動、健康を維持する、呼吸する、血液を循環させる、動く、話す、食べる、排泄するなどの仕組みについて学ぶ。また、生体を構成する有機化合物の動きや、それらの物質の体内での合成・分解等の生命体としての生化学的なしみと働きを理解する。講義を通して、障害や疾病による身体の変化が生活にどのような影響を及ぼすのか推測するための基礎知識を学修する。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
◎	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 身体の状態について既習の用語を使い、日常生活行動とのつながりを説明することができる。</li> <li>2) 体液と血液、呼吸器、循環器系（循環器系・動静脈系・リンパ系）、消化器、腎・泌尿器の構造と機能を結び付けて説明することができる。</li> <li>3) 各器官の正常な構造や機能について、生命維持、健康維持とのかかわりについて説明することができる。</li> <li>4) 生化学的なしみや働きと生体維持とのかかわりを説明することができる。</li> <li>5) 人体を構成する細胞、組織、各器官の機能障害が日常生活の営みに及ぼす影響について推測することができる。</li> </ol>					
	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる						
○	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる						
	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる						
○	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる						
	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習（学習課題）			
1	コースオリエンテーション 人体の基本構造について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
2	人体の細胞、組織について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
3	人体の器官及び器官の概略について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
4	体液と血液について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
5	排尿・体液調節のしくみ（腎臓の構造と機能、尿の生成と体液調節機能）について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
6	循環器系 心臓、血管の構造と機能について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
7	循環器系 肺循環、体循環、リンパ管の構造と機能について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
8	呼吸器系 呼吸器の構造と機能について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
9	消化器系 消化・吸収・代謝のしくみについて（消化管の基本構造と機能、歯・口腔・咽頭の構造と機能）	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
10	消化器系 消化・吸収・代謝のしくみについて（消化管の構造と機能：食道、胃）	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上
11	消化器系 消化・吸収・代謝のしくみについて（消化管の構造と機能：小腸、大腸）	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習：1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習：1時間以上

12	<p>消化器系 消化・吸収・代謝のしくみについて（消化管の構造と機能：肝臓・胆嚢）</p>	講義	橋爪誠	<p>事前に授業内容を確認し、テキストで予習</p> <p>講義資料とテキストをもとに復習</p>	<p>事前学習：1時間以上</p> <p>事後学習：1時間以上</p>
13	<p>消化器系 消化・吸収・代謝のしくみについて（消化管の構造と機能：膵臓） 腹膜について</p>	講義	橋爪誠	<p>事前に授業内容を確認し、テキストで予習</p> <p>講義資料とテキストをもとに復習</p>	<p>事前学習：1時間以上</p> <p>事後学習：1時間以上</p>
14	<p>消化器系 消化・吸収・代謝のしくみについて（消化管の構造と機能：消化の基本原則、栄養素の消化・吸収・代謝）</p>	講義	橋爪誠	<p>事前に授業内容を確認し、テキストで予習</p> <p>講義資料とテキストをもとに復習</p>	<p>事前学習：1時間以上</p> <p>事後学習：1時間以上</p>
15	<p>消化器系 消化・吸収・代謝のしくみについて（消化管の構造と機能：栄養素の消化・吸収・代謝、排便の機序等）</p>	講義	橋爪誠	<p>事前に授業内容を確認し、テキストで予習</p> <p>講義資料とテキストをもとに復習</p>	<p>事前学習：1時間以上</p> <p>事後学習：1時間以上</p>
<b>成績評価方法・基準</b>		筆記試験（70%）、小テスト（20%）、課題レポート（10%）により評価する。			
<b>課題に対するフィードバック</b>		ミッツペーパーへの質疑やレポートへのコメントは授業時間内にフィードバックする。			
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○新体系看護学全書「人体の構造と機能①解剖生理学 第4版」 ISBN：978-4-8392-3368-6 メチカルフレンド社			
<b>参考書</b>		系統看護学講座「専門基礎分野 人体の構造と機能①解剖生理学 第11版」 ISBN：978-4-2600-4687-9 医学書院			
<b>参考文献</b>		新体系看護学全書「人体の構造と機能③形態機能学」 ISBN：978-4-8392-3377-8 メチカルフレンド社			
<b>オフィスアワー</b>		講義日：木、金曜日 16：30～17：30			
<b>その他</b>		担当者連絡先（非常勤の場合は、教務課へ連絡） メールアドレス：後日提示			
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>		<p>医師ならびに医学研究者としての消化器系の実務経験を活かして、講義を行う。（橋爪）</p> <p>医師ならびに医学研究者としての法医認定医・指導医の資格の実務経験を活かして、講義を行う。（久保）</p>			

科目ナンバー		1025A			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
25	身体のしくみと働きⅡ	2単位	30時間	必修	講義	1年	後期
責任者		橋爪誠		担当者	橋爪誠、久保真一、諸喜田睦子		
授業の概要(授業の目的)							
<p>身体のしくみと働きⅠの学習に加え、運動器の正常な構造と形態および機能について、人体の複雑で精緻な内部環境が神経系や内分泌系によりどのように維持・調節されているのか、その仕組みと脳・神経、血液循環、呼吸、運動、摂食・消化・排泄などへの影響について学習する。また、生体が外部からの情報を知覚・反応する際のメカニズムについて、さらに生命が生まれ、成長し老化していく過程について学び、外部環境、内部環境による身体の変化を推測するための基礎知識を学習する。</p>							
ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連				学修の到達目標			
○	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) 身体の支持・運動のしくみについて、日常生活行動と関連させて説明することができる。			
	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) 感覚器、神経組織、内部環境調節機構である内分泌系とホルモンの構造・機能について説明できる。			
○	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) 生命維持において恒常性の維持、免疫系、体温調節の内容と意義について説明できる。			
	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) 生殖、発生、成長、老化による身体の変化について説明できる。			
○	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる			5) 運動器の機能障害や感覚器、神経組織、内部環境調節機構の障害が日常生活に及ぼす影響を推測することができる。			
	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	コースオリエンテーション 身体の支持・運動のしくみについて(骨・関節・骨格筋)	講義	諸喜田睦子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
2	身体の支持・運動のしくみについて (各部の骨格と筋の構造と機能: 骨と筋の主な運動、体幹の骨と筋)	講義	諸喜田睦子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
3	身体の支持・運動のしくみについて(上肢の骨と筋)・上肢の日常生活動作について	講義	諸喜田睦子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
4	身体の支持・運動のしくみについて(下肢の骨と筋)・下肢の日常生活動作について	講義	諸喜田睦子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
5	情報の受容のしくみについて (感覚、内臓感覚、視覚器、聴覚・平衡覚器、味覚器・臭覚器の構造と機能)	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
6	情報伝達と処理のしくみについて (神経組織の構造と情報伝達、脳脊髄神経系、脳神経の構造と機能、分布)	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
7	情報伝達と処理のしくみについて (脊髄神経の構造と分布、自律神経の分布と機能)	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
8	情報伝達と処理のしくみについて (中枢神経系の構成要素、発生と区分、髄膜と脳室、脳脊髄液、脊髄と脳の構造と機能)	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
9	情報伝達と処理のしくみについて (中枢神経系: 反射、統合機能、感覚器系・運動器系の伝達路)	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
10	内部環境維持・調節のしくみ (自律神経、内分泌器官の構造とホルモンの機能: 視床下部・下垂体・甲状腺)について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
11	内部環境維持・調節のしくみ(内分泌器官の構造とホルモンの機能: 副甲状腺とカルシウム代謝、膵島ホルモンと糖代謝、副腎、性腺ホルモン、その他)について	講義	久保真一	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
12	恒常性維持のしくみについて (非特異的生体防御機構、特異的生体防御機構)	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
13	恒常性維持のしくみについて (体温の成り立ち、体温調節、概日リズムと体内時計、睡眠と覚醒)	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
14	生殖・発生と老化について (男性、生殖、成長に伴う人の一生、受精、着床、初期発生、胎盤と臍帯)	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
15	生殖・発生と老化について (人の成長、分娩・産褥、乳腺の発達と授乳、生後発達、思春期、加齢に伴う変化)	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習: 1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習: 1時間以上
成績評価方法・基準		筆記試験(70%)、小テスト(20%)、課題レポート(10%)により評価する。					
課題に対するフィードバック		ミッツペーパーへの質疑やレポートへのコメントは授業時間内にフィードバックする。					
教科書 ※教科書には○を記載		○新体系看護学全書「人体の構造と機能①解剖生理学 第4版」 ISBN: 978-4-8392-3368-6 メヂカルフレンド社					
参考書		系統看護学講座「専門基礎分野 人体の構造と機能①解剖生理学 第11版」 ISBN: 978-4-2600-4687-9 医学書院					
参考文献		新体系看護学全書「人体の構造と機能③形態機能学」 ISBN: 978-4-8392-3377-8 メヂカルフレンド社					
		江連和久著「看護学生のための解剖生理 第2版」 ISBN: 978-4-8392-1580-4 メヂカルフレンド社					
		増田敦子著「看護学生プレトレーニング人体のしくみ」 ISBN: 978-4-8392-1680-1 メヂカルフレンド社					

<b>オフィスアワー</b> <b>その他</b>	講義日. 木. 金曜日 16:30~17:30 担当者連絡先 (非常勤の場合は、教務課へ連絡) メールアドレス : 後日提示
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>	医師ならびに医学研究者としての法医認定医・指導医の資格の実務経験を活かして、講義を行う。(久保)

科目ナンバー		1026B			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
26	健康教育学基礎	1単位	15時間	選択	講義	1年	後期
責任者		八谷百合子		担当者	八谷百合子		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>健康教育は、対象者の健康づくりを保健・医療の分野の専門家として支援するものである。健康教育学基礎は、対象の健康課題に対応するための健康教育に関する基礎学力や専門的知識の学習を通じて、看護学における健康教育の理念、考え方や役割について学ぶ。その上で、健康教育の目的を理解し、職場、地域、医療機関等それぞれの施設における健康教育の位置づけや対象の行動変容を促すための効果的な健康教育のあり方、具体的な健康教育の実施方法について理解する。その結果、看護師や保健師として患者や対象者に健康教育を実施できる基礎知識を学修できる。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
<input type="radio"/> DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 健康教育の理念や考え方を理解できる。 2) 健康教育の目的を説明できる。 3) 患者や対象の特徴、ニーズに応じた効果的な健康教育の展開方法について説明できる。 4) 行動変容を促す健康行動理論および行動療法について説明できる。 5) 行動変容を促す健康教育方法について演習を通して修得できる。			
<input type="radio"/> DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
<input checked="" type="radio"/> DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
<input type="radio"/> DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
<input type="radio"/> DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
<input type="radio"/> DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容			方法	担当者	予習・復習(学習課題)	
1	・健康教育の理念 ・保健・医療の5段階と健康教育			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
2	患者教育の考え方			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
3	Prochaskaの行動変容の理論を使った禁煙指導①			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
4	Prochaskaの行動変容の理論を使った禁煙指導②			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
5	保健・医療と健康教育			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
6	・高齢者保健対策と健康教育 ・介護保険制度と健康教育 ・プライマリ・ヘルスケアと健康教育 ・健康教育と保健行動 ・健康教育の方法と媒体			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
7	・21世紀における国民健康づくり運動 ・コミュニティー・ガゼーション ・自主グループ、ネットワークと健康教育 ・住民参加と健康教育			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
8	<b>(授業時間 45分)</b> ・健康教育計画の企画、実施と評価 ・各種保健・医療従事者と健康教育 ・健康教育に関する研究第 ・健康教育の国際的動向			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
<b>成績評価方法・基準</b>		授業への参加・態度・発表(20%)、定期試験(80%)を総合的に評価し、100点中60点以上を合格とする。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		フィードバックは、その都度講義時間内に行う。また、個別のフィードバックが必要な場合は、時間外に実施する。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○宮坂忠夫、川田智恵子、吉田尚亨編著「最新保健学講座別巻1健康教育論 第2版」 最新版 メチカルフレンド社					
<b>参考書</b>		松本千明著「医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 第2版」 ISBN：978-4-263-71068-5 医歯薬出版社					
<b>参考文献</b>		出典：今日からできるミニマム禁煙医療 <a href="http://kieniryo.cocolog-nifty.com/blog">http://kieniryo.cocolog-nifty.com/blog</a> 加濃正人 日本アルコール精神医学雑誌 2008;15:3-14					
<b>オフィスアワー</b>		講義日、木、金曜日 16:30~17:30					
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示					
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>		企業等の産業保健師として健康教育の経験を活かして、講義を行う。					

科目ナンバー		1027A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
27	保健医療概論	1単位	15時間	必修	講義	1年	前期
責任者		橋爪誠		担当者	橋爪誠		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
医療の歩みや医療供給体制の現状を概説し、保健医療が抱える課題や、医療技術の発展に伴う新たな倫理問題について学修する。また、近い将来、倫理的問題に遭遇することを想定して、医療倫理の歴史、倫理的概念や倫理原則について学ぶ。臓器移植や再生医療、遺伝子医療、終末期医療では延命治療等の倫理的問題を取り上げ、療養者およびその家族の意思決定を尊重した最善の選択ができるよう医療者として生・死をどのように捉え、どのように支援するべきなのか、自身の問題として考える機会を提供する。これらの講義を通じて医療者として倫理的感性を育む。							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) 保健医療を提供する仕組みや制度について説明することができる。			
◎	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) 保健医療に携わる専門職者について説明することができる。			
	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) 医療を受ける人々の特徴について説明することができる。			
	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) 保健医療が抱える問題、倫理的問題について説明することができる。			
	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる			5) 倫理的問題の議論を通して自身の生・死の捉え方の変化について述べることができる。			
	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる			6) 療養者及び家族の倫理的問題の対処について、人々を擁護し、最善の医療選択をサポートする上で必要な医療者の姿勢や役割について考えを述べることができる。			
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	コースオリエンテーション 保健医療の現状：保健医療の提供体制や制度について	講義	橋爪誠	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間以上	事後学習：1時間以上	
2	保健医療を担う専門職とその活動について	講義	橋爪誠	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間以上	事後学習：1時間以上	
3	医療の歩みと保健医療分野が抱える問題について	講義	橋爪誠	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間以上	事後学習：1時間以上	
4	保健医療を受ける人々の特徴について：人口動態、疾病構造、疾病と健康について	講義	橋爪誠	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間以上	事後学習：1時間以上	
5	医療の進歩と医療倫理について	講義	橋爪誠	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間以上	事後学習：1時間以上	
6	医療現場での倫理的問題について	講義	橋爪誠	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間以上	事後学習：1時間以上	
7	いくつかの倫理的問題について事例を通してその対処について議論	グループディスカッション・講義	橋爪誠	倫理的問題の事前課題に取り組む 自身の課題記述を見直し、 自己の新たな考えをまとめる	事前学習：1時間以上	事後学習：1時間以上	
8	(授業時間 45分) 授業のまとめ	講義	橋爪誠	授業全体を振り返る 医療者としての役割、医療に向かう 姿勢について自己の考えをまとめる	事前学習：1時間以上	事後学習：1時間以上	
<b>成績評価方法・基準</b>		筆記試験(70%)、グループディスカッション参加度(10%)、課題レポート(20%)により評価する。					
<b>課題に対するフィードバック</b>		ミニツペーパーへの質疑やレポートへのコメントは授業時間内にフィードバックする。					
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>							
<b>参考書</b>		○新体系看護学全書「別巻 現代医療論 第3版」		ISBN：978-4-8392-3375-4 メチカルフレンド社			
<b>参考文献</b>		新体系看護学全書「健康支援と社会保障制度①医療学総論」		ISBN：978-4-8392-3369-3 メチカルフレンド社			
<b>オフィスアワー</b>		講義日：木、金曜日 16：30～17：30					
<b>その他</b>		メールアドレス： 後日提示					
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>							

科目ナンバー	1028A				実務経験のある教員等の有無	無	
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
28	生化学	2単位	30時間	必修	講義	1年	後期
責任者		森誠之		担当者		森誠之	
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>身体のしくみと働きⅠ・Ⅱ、いのちの栄養と生活の学習のままを踏まえ、生体機能を維持するための生体成分（水分、電解質、蛋白質、糖質、脂質、核酸など）の構造と性質、各成分の機能と役割、糖質、生体エネルギー、脂質、蛋白質代謝と分解経路・合成経路、酵素、ホルモンなどの生理活性物質による生体調節機構について、また、代謝と体液バランス、酸-塩基平衡との関連について学ぶ。講義を通して、疾病や食、生活習慣が生体機能、代謝、調節機構に及ぼす影響をアセスメントするために必要な基礎知識を学修する。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
◎	D-P1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) 生体成分(水分、電解質、糖質、脂質、アミノ酸・タンパク質)の構造と性質、各成分の機能と役割を説明することができる。			
	D-P2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) 糖質、生体エネルギー、脂質、蛋白質代謝と分解経路・合成経路について説明することができる。			
	D-P3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) 酵素、ホルモンなどの生理活性物質による生体調節機構について説明することができる。			
	D-P4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) 代謝と体液バランス、酸-塩基平衡との関連を説明することができる。			
	D-P5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる			5) 疾病や食、生活習慣が生体機能、代謝、調節機構に及ぼす影響を説明することができる。			
	D-P6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	コースオリエンテーション 生化学の基礎知識:生体の成り立ちと生体成分	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 0.5時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 0.5時間
2	糖質の生化学 糖質の種類と構造、代謝(分解経路、合成経路)	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間
3	糖質の生化学 代謝(分解経路、合成経路)、代謝異常と疾患	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間
4	脂質の生化学 脂質の種類と構造、代謝(分解経路、合成経路)	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間
5	脂質の生化学 代謝(分解経路、合成経路)、代謝異常と疾患	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間
6	蛋白質の生化学 蛋白質の種類と構造、代謝	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間
7	蛋白質の生化学 代謝(分解経路・合成経路)	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間
8	蛋白質の生化学 代謝(分解経路・合成経路)、代謝異常と疾患	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間
9	エネルギーの生化学 呼吸とエネルギー産生、各代謝との相互の関連、エネルギー代謝の異常と疾患	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間
10	酵素の生化学 酵素の性質と酵素の反応、酵素と補酵素	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間
11	ビタミン、ミネラルの生化学 生体とビタミン、ミネラル、タミンの構造と機能と疾患、ミネラルの機能	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む	事前学習: 1時間	配布された講義資料やノート、テキストで復習	事後学習: 1時間

12	遺伝子の生化学 核酸の構造と代謝経路、遺伝子と染色体の構造、遺伝子とタンパク質の合成	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
13	遺伝子の生化学 エピジェネティクス、遺伝子診断と遺伝子治療	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
14	ホルモンの作用機序・代謝	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
15	酸化ストレスと疾患	講義	森誠之	指示されたテキスト、資料を読む 配布された講義資料やノート、 テキストで復習	事前学習：1時間 事後学習：1時間
成績評価方法・基準		筆記試験(70%)、小テスト(20%)、課題レポート(10%)により評価する。			
課題に対するフィードバック		フィードバックは、その都度講義時間内に行う。また、個別のフィードバックが必要な場合は、時間外に実施する。			
教科書 ※教科書には○を記載		○新体系看護学全書「人体の構造と機能②栄養生化学 第6版」、ISBN:978-4-8392-3412-6 メヂカルフレンド社 石黒伊三雄監修、斉藤 邦明編集、「わかりやすい生化学－疾病と代謝・栄養の理解のために－第5版」、 ISBN:978-4-8617-4069-5 ヌーヴェルヒロカワ			
参考書		新体系看護学全書「人体の構造と機能①解剖生理学 第4版」、ISBN:978-4-8392-3368-6 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書「成人看護学③内分泌／栄養・代謝 第6版」、ISBN:978-4-8392-3399-0 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書「別巻 治療法概説 第4版」、ISBN:978-4-8392-3392-1 メヂカルフレンド社			
参考文献		講義の中に示す。			
オフィスアワー その他		担当者連絡先（非常勤の場合は、教務課へ連絡） メールアドレス：後日提示			
教員の実務経験と授業内容の関連					

科目ナンバー		1029A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
29	いのちの栄養と生活	2単位	30時間	必修	講義	1年	前期
責任者		下田妙子		担当者	下田妙子		
授業の概要(授業の目的)							
<p>生命の維持、成長発達に必要な栄養素と、健康の保持・増進のための食生活について学ぶ。講義を通して5大栄養素（糖質、脂質、蛋白質、ビタミン、ミネラル）の機能および代謝、生体内での消化・吸収のメカニズムについて理解し、成長発達あるいは加齢による栄養状態の変化と、対象に応じた食事の摂取方法、食事・栄養管理について基礎知識を学修する。また、疾病や障害を抱える人々の栄養状態の評価や判定方法、適切な食品や食事の選択、治療食について学修する。</p>							
ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連				学修の到達目標			
◎	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) 栄養素の種類・構造・性質・働きについて説明することができる。			
	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) 摂取した糖質・脂質・蛋白質の消化吸收、体内代謝について説明することができる。			
	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) 日本人の食事摂取基準の基本的な考え方、指標、留意点について説明することができる。			
	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) 成長発達あるいは加齢による栄養状態の変化と食事・栄養の管理について説明することができる。			
	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる			5) 人々の栄養状態の評価や判定方法について説明し、自身の栄養状態を評価し、食生活を見直すことができる。			
	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる			6) 疾患別治療食、経口以外の栄養補給法が人に及ぼす影響を推測することができる。			
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	コースオリエンテーション 人体と栄養について、我が国の食生活の推移と疾患とのかわり、食品群の特色	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
2	人体の構造と機能、咀嚼と嚥下、消化器の働き	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
3	栄養素の消化と吸収、調節について	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
4	栄養素とその機能:糖質の種類と消化吸收、血糖調節	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
5	栄養素とその機能:脂質の種類と消化吸收・代謝	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
6	栄養素とその機能:タンパク質消化吸收、アミノ酸の代謝	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
7	栄養素とその機能:ミネラルの栄養と生理作用	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
8	栄養素とその機能:ビタミンの種類と欠乏症と過剰症	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
9	栄養素とその機能:水・核酸の代謝	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
10	食品のエネルギーとエネルギー消費量の測定、栄養スクリーニングとアセスメント	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
11	ライフステージと栄養:栄養状態の対象特性(成長期)	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
12	ライフステージと栄養:成人期、高齢期	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
13	栄養補給法と治療食:一般治療食、消化器系疾患と肝・胆・膵疾患	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
14	栄養療法:代謝性疾患(糖尿病・脂質異常症)、循環器疾患	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
15	栄養療法:腎疾患・血液疾患・先天性代謝異常症・アレルギー疾患、リハビリテーションと栄養	講義	下田妙子	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上



科目ナンバー		1030A			実務経験のある教員等の有無		無
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
30	いのちと防御のしくみ	2単位	30時間	必修	講義	1年	後期
責任者		齋藤光正		担当者	齋藤光正		
授業の概要(授業の目的)							
<p>身体に侵入した異物を認識し排除する免疫システムと、微生物が人体に及ぼす影響と感染の機序を理解し、病因となる微生物(細菌、ウイルス、真菌)の特徴について学修する。感染源と成り得る患者と感受性宿主が同一空間に存在する医療施設で従事する看護師として、医療従事者による媒介感染を防止するために基盤となる知識を学修する。また、生体が有する免疫機能を理解し、感染症およびその治療の現状から微生物との共生、感染対策、いのちを守る生体防御機構について学修する。</p>							
ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連				学修の到達目標			
◎	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) 微生物の性質の主な相違点を説明することができる。			
	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) 微生物の感染過程(感染成立、発症、転帰)と宿主の感染防御機構を説明することができる。			
	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) 感染症の検査と診断、治療について説明することができる。			
	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) 主要な病原微生物についてその感染経路、病原性、感染病態、予防を説明することができる。			
	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる			5) 感染症の現状(医療関連感染、新興・再興感染症など)と対策(感染症法、消毒と滅菌、標準予防策と感染経路別予防策、予防接種など)について説明することができる。			
	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる			6) 感染症および薬剤耐性の現状やワンヘルスの観点から、微生物との共生について自身の考えを述べる事ができる。			
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	オリエンテーション 微生物学の基礎(細菌、ウイルス、真菌、原虫、プリオンの性質)(1)	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
2	微生物学の基礎(細菌、ウイルス、真菌、原虫、プリオンの性質)(2)	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
3	感染と感染症	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
4	感染に対する生体防御機構	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
5	感染症の検査と診断 感染症の治療	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
6	消毒と滅菌 手指の常在菌と消毒薬の効果(1)	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
7	手指の常在菌と消毒薬の効果(2) 感染症の現状と対策	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
8	病原細菌と細菌感染症(1)	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
9	病原細菌と細菌感染症(2)	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
10	病原細菌と細菌感染症(3)	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
11	病原ウイルスとウイルス感染症(1)	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
12	病原ウイルスとウイルス感染症(2)	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
13	病原ウイルスとウイルス感染症(3)	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
14	病原真菌と真菌感染症 寄生虫と衛生動物	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
15	まとめ	講義	齋藤光正	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上

成績評価方法・基準	筆記試験（90%）、課題レポート（10%）により評価する。
課題に対するフィードバック	課題レポートへのコメントは授業時間内にフィードバックする。
教科書 ※教科書には○を記載	○南嶋洋一、吉田眞一、永淵正法、齋藤光正、大野真治 著：「系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進④ 微生物学」第14版（医学書院）
参考書	齋藤光正 著：「イラストでわかる微生物学超入門-病原微生物の感染のしくみ」改訂3版（南山堂）
参考文献	担当教員が随時、紹介する。
	担当者連絡先（非常勤の場合は、教務課へ連絡） メールアドレス： 後日提示
教員の実務経験と授業内容の関連	

科目ナンバー		1031A			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
31	公衆衛生学	2単位	30時間	必修	講義	1年	後期
責任者		八谷百合子		担当者	八谷百合子		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
現代の医療は、疾病の治療だけではなく、健康の保持増進、疾病の早期発見、早期治療、リハビリテーションまで含めた包括的医療が望まれている。こうした健康と疾病の成り立ちを個人単位でなく、集団として解明し、いかにしてより良い保健サービスを提供できるかを研究する医学・看護学の分野である。臨床では、患者個人を対象とするのに対して、公衆衛生学では、人間集団を対象とし、ヒトの病気や死などを単に生物学的現象としてだけではなく、環境や社会との関連で考え、人類の健全なる発展をめざしている。また、研究の成果より得られた知見を基に国の政策や医療制度の見直し、ガイドラインの作成、許容濃度や環境基準の設定等につなげる、社会的にも重要な分野である。臨床医学・臨床看護学とは異なった、公衆衛生的なものの方、予防医学の重要性について学び理解する。							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 健康の概念について理解し、健康を保持増進させるための社会的施策の変遷について理解し、説明できる。			
DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる				2) 人の健康を集団としてとらえ疫学的視点から理解するために疫学の基礎的手法を理解し、説明できる。			
DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる				3) 人の誕生から学校・職場そして高齢者保健に至る、人の生涯を通じた保健衛生上の問題点について理解するとともに、それぞれに関連した法令・制度についても理解し、説明できる。			
DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる				4) 輸入感染症・再興感染症を含む感染症の動向について理解し、その対策・予防についても理解し、説明できる。			
DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる				5) 産業現場に有害要因への曝露の健康影響について理解し、その対策・予防についても理解し、説明できる。			
◎ DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる				6) 日々の生活と自分達を取り巻く環境とのかわりについて理解し、地球規模の環境問題について説明できる。			
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容			方法	担当者	予習・復習(学習課題)	
1	衛生学・公衆衛生学序論 ・健康の定義 ・生活と健康			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
2	保健統計 ・健康の測定と健康指標 ・人口統計 ・その他統計			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
3	疫学 ・疫学調査の手順と留意点 ・疾病分類 ・疾病量の把握			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
4	疾病予防と健康管理 ・疫学リスクと予防医学 ・健康日本2 1			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
5	主な疾病の予防 ・感染症の予防 ・循環器疾患、糖尿病、がん、腎疾患、アレルギーの予防 ・不慮の事故と自殺の防止			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
6	環境保健 ・人間の環境 ・環境の把握とその評価・対策 ・物理的、化学的、生物的環境要因			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
7	環境保健 ・空気の衛生と大気汚染 ・水の衛生と水質汚濁 ・廃棄物、衣食住の衛生			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
8	地域保健と保健行政 ・地域社会と地域保健 ・地域保健と行政 ・消費者保健			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
9	母子保健 ・母子保健の水準 ・母子保健の課題 ・母子保健活動と行政			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
10	学校保健 ・子どもの健康状況 ・学校保健の組織と運営 ・歯科保健、学校環境管理			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間
11	産業保健 ・働く人々の健康 ・労働災害、事故 ・職業病			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む 講義内容の復習	事前学習：2時間 事後学習：2時間

12	高齢者の保健・医療・介護 ・高齢者の生活と健康 ・高齢者の保健と医療 ・認知症と対策	講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習：2時間
				講義内容の復習	事後学習：2時間
13	精神保健 ・精神保健と心の働きの理解 ・主な精神疾患と精神保健の課題 ・精神保健福祉活動	講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習：2時間
				講義内容の復習	事後学習：2時間
14	国際保健医療 ・人種と民族と国 ・発展途上国の健康問題とその対策	講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習：2時間
				講義内容の復習	事後学習：2時間
15	保健医療福祉の制度と法規 ・保健医療福祉行政の概要と基礎 ・医療制度の仕組み	講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習：2時間
				講義内容の復習	事後学習：2時間
<b>成績評価方法・基準</b>		授業への参加・態度・発表（20%）、定期試験（80%）を総合的に評価し、100点中60点以上を合格とする。			
<b>課題に対するフィードバック</b>		フィードバックは、その都度講義時間内に行う。また、個別のフィードバックが必要な場合は、時間外に実施する。			
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○小山洋、辻一郎監修「シンプル衛生公衆衛生学」最新版、南江堂			
<b>参考書</b>		厚生労働統計協会編「国民衛生の動向」最新版、厚生労働統計協会			
<b>参考文献</b>		講義の中に示す。			
<b>オフィスアワー</b>		講義日、木、金曜日 16：30～17：30			
<b>その他</b>		メールアドレス：後日提示			
<b>教員の実務経験と授業内容の関連</b>		企業等の産業保健師としての経験を活かして、講義を行う。			

科目ナンバー		1032A			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
32	病態生理と治療 I	2単位	30時間	必修	講義	1年	後期
責任者		橋爪誠		担当者	橋爪誠、武岡宏明		
<b>授業の概要(授業の目的)</b>							
<p>病態生理と治療 I では、疾病の主症状、病因、病態メカニズム、検査、治療法（手術療法、薬物療法、放射線療法）および治療経過等、健康状態のアセスメントや看護実践において基盤となる知識を学修する。I では身体のしくみと働き I・II の学習を踏まえ、正常な身体の構造と機能に関する知識をもとに呼吸器系、循環器系（心臓・血管系）、消化器系（上部・下部消化管・肝臓・胆・膵臓等）の主要な疾患について、定義、症状、徴候、病因、分類、検査治療法について病態生理やそのメカニズムを関連付けて学修する。</p>							
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>				<b>学修の到達目標</b>			
◎	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) 呼吸器の正常な構造・機能および、疾病の原因、病態メカニズム、検査、治療法および治療経過について説明することができる。			
	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) 循環器の正常な構造・機能および、疾病の原因、病態メカニズム、検査、治療法および治療経過について説明することができる。			
○	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) 消化器の正常な構造・機能および、疾病の原因、病態メカニズム、検査、治療法および治療経過について説明することができる。			
	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) 呼吸器系・循環器系・消化器系の疾患を抱える人々の日常生活への影響を推測することができる			
	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる			5) 呼吸器系・循環器系・消化器系の疾患を抱える人々の日常生活への影響を知るための観察ポイントについて説明することができる			
	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	コースオリエンテーション 呼吸器の構造と機能	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
2	呼吸器の主な症状と病態生理	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
3	呼吸器疾患にかかわる診察・検査・治療(手術療法・薬物療法・放射線療法・理学療法等)	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
4	呼吸器(肺)疾患の症状、病因、病態メカニズム、治療法と治療経過(1)	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
5	呼吸器疾患の症状、病因、病態メカニズム、治療法と治療経過(2)	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
6	循環器の構造と機能	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
7	循環器の主な症状と病態生理	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
8	循環器疾患にかかわる診察・検査・治療(手術療法・薬物療法・理学療法等)	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
9	循環器(心臓)疾患の症状、病因、病態メカニズム、治療法と治療経過(1)	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
10	循環器疾患(動静脈・血管)の疾患の症状、病因、病態メカニズム、治療法と治療経過(2)	講義	武岡宏明	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		
11	消化器の構造と機能	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上		
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上		

12	消化器の主な症状と病態生理	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
13	消化器疾患にかかわる診察・検査・治療(手術療法・薬物療法・放射線療法・食事療法等)	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
14	消化器疾患(食道・胃・小腸・大腸等)の症状、病因、病態メカニズム、治療法と治療経過(1)	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
15	消化器疾患(肝臓・胆嚢・膵臓等)の症状、病因、病態メカニズム、治療法と治療経過(2)	講義	橋爪誠	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上
				講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
成績評価方法・基準		筆記試験(70%)、小テスト(20%)、課題レポート(10%)により評価する。			
課題に対するフィードバック		ミニッツペーパーへの質疑やレポートへのコメントは授業時間内にフィードバックする。			
教科書 ※教科書には○を記載		○新体系看護学全書「疾病の成り立ちと回復の促進④疾病と治療1呼吸器」 ISBN:978-4-8392-3329-7 メヂカルフレンド社 ○新体系看護学全書「疾病の成り立ちと回復の促進⑤疾病と治療2循環器」 ISBN:978-4-8392-3330-3 メヂカルフレンド社 ○新体系看護学全書「疾病の成り立ちと回復の促進⑥疾病と治療3消化器」 ISBN:978-4-8392-3331-0 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書「別巻 治療法概説 第4版」 ISBN:978-4-8392-3392-1 メヂカルフレンド社			
参考書		系統看護学講座 別巻 病態生理学 改訂版2023 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 改訂版2023 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 改訂版2023 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床検査 改訂版2023 医学書院			
参考文献					
オフィスアワー その他		講義日: 木、金曜日 16:30~17:30 担当者連絡先(非常勤の場合は、教務課へ連絡) メールアドレス : 後日提示			
教員の実務経験と授業内容の関連		医師ならびに医学研究者としての消化器系の実務経験を活かして、講義を行う。(橋爪) 医師ならびに医学研究者としての内科系の実務経験を活かして、講義を行う。(武岡)			

科目ナンバー		1035A			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
35	薬理学	2単位	30時間	必修	講義	1年	後期
責任者		中島昌治		担当者	中島昌治、秀島輝		
授業の概要(授業の目的)							
薬物療法は汎用される治療法の一つである。身体のしくみと働き I・II、生化学の学習を踏まえ、臨床で使用される薬の作用機序と体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)、複数の薬の投与による相互作用、薬効の影響因子、薬使用の有用性と危険性(用量による影響、副作用、反復投与による影響)、薬に関する法律について学修する。また、薬物療法で使用されている薬の使用目的、作用・有害作用、禁忌を理解し、安全かつ有効な治療を提供するために必要な基礎知識を学修する。							
ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連				学修の到達目標			
◎	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる			1) 治療で取り扱う薬物の作用メカニズムを説明することができる。			
	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる			2) 治療で取り扱う薬物の有害作用、禁忌を説明することができる。			
	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる			3) 薬物療法を行うための安全な実践的使用法を説明することができる。			
	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる			4) 薬物療法における看護の役割について説明できる			
	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる						
	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる						
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	コースオリエンテーション 薬の基礎知識:薬が作用するしくみ、薬の体内動態、相互作用、薬の使用による有益性と危険性	講義	秀島輝	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
2	薬の基礎知識:薬と法律、薬物療法実施までのプロセスと医師、薬剤師、看護師の役割について 薬物療法の実際:末梢神経系に作用する薬について	講義	秀島輝	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
3	薬物療法の実際:中枢神経系に作用する薬について	講義	秀島輝	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
4	薬物療法の実際:循環器系に作用する薬について(1)	講義	秀島輝	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
5	薬物療法の実際:循環器系に作用する薬について(2)	講義	秀島輝	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
6	薬物療法の実際:呼吸器系、消化器系に作用する薬について	講義	秀島輝	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
7	薬物療法の実際:消化器系、生殖系に作用する薬について	講義	秀島輝	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
8	薬物療法の実際:内分泌系、物質代謝に作用する薬について	講義	秀島輝	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
9	薬物療法の実際:抗アレルギー薬・抗炎症薬・解熱鎮痛薬について	講義	中島昌治	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
10	薬物療法の実際:抗がん薬について	講義	中島昌治	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
11	薬物療法の実際:免疫治療薬について	講義	中島昌治	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
12	薬物療法の実際:抗感染症薬について(1)	講義	中島昌治	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
13	薬物療法の実際:抗感染症薬について(2)	講義	中島昌治	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
14	薬物療法の実際:救急の際に使用される薬、輸液製剤・輸血剤について	講義	中島昌治	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
15	薬物療法の実際:その他の薬剤(皮膚科用薬・眼科用薬、漢方薬、消毒剤)について	講義	中島昌治	事前に授業内容を確認し、テキストで予習	事前学習:1時間以上	講義資料とテキストをもとに復習	事後学習:1時間以上
成績評価方法・基準		筆記試験(70%)、小テスト(20%)、課題レポート(10%)により評価する。					
課題に対するフィードバック		ミニッツペーパーへの質疑やレポートへのコメントは授業時間内にフィードバックする。					

<p>教科書 ※教科書には○を記載</p> <p>参考書</p> <p>参考文献</p>	<p>○新体系看護学全書「疾病の成り立ちと回復の促進③ 薬理学」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学② 呼吸器」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学③ 循環器」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学④ 血液・造血器」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学⑤ 消化器」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学⑥ 脳・神経」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学⑦ 腎・泌尿器」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学⑧ 内分泌／栄養・代謝」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学⑨ 感染症／アレルギー・免疫／膠原病」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学⑩ 女性生殖器」メヂカルフレンド社</p> <p>・新体系看護学全書「成人看護学⑪ 皮膚／眼」メヂカルフレンド社</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>その他</p>	<p>担当者連絡先 （非常勤の場合は、教務課へ連絡）</p> <p>メールアドレス : 後日提示</p>
<p>教員の実務経験と授業内容の関連</p>	<p>医師としての実務経験を活かして、講義を行う。（秀島）</p> <p>薬剤師としての実務経験を活かして、講義を行う。（中島）</p>

科目ナンバー		1036B			実務経験のある教員等の有無		無		
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期		
36	保健統計学 I 基礎	1単位	15時間	選択	講義	1年	後期		
責任者		八谷百合子		担当者	八谷百合子				
<b>授業の概要(授業の目的)</b>									
<p>保健統計学の概念と方法を理解し、知識や計算方法の学習を通じて、疫学や公衆衛生学における保健統計学の役割について学ぶ。その上で、看護師および保健師は、科学的根拠に基づき地域保健を視野に入れた医療全般、地域保健、産業保健を行って行くために、保健統計学の知識は不可欠なものであることを学ぶ。その結果、対象の理解の健康課題に対応するための基礎学力や専門的知識としての保健統計学を学修する。保健統計資料の種類と特徴、活用方法について説明することができ、データの特徴を記述する図表化と数値要約の方法を理解することができる。また、疫学における研究結果の評価法を理解し、基本的な計算方法を学修する。その上で、データの種類、尺度、散布度を理解し、基本的な計算方法を学習する。よって、統計学における推定と検定の考え方やおよび方法を学び、データを取り扱う上での倫理的配慮事項を理解する。</p>									
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>					<b>学修の到達目標</b>				
DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる					1) 保健統計資料の種類と特徴、活用方法について説明できる。				
DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる					2) データの特徴を記述する図表化と数値要約の方法を理解できる。				
◎ DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる					3) 疫学における研究結果の評価法を理解し、基本的な計算方法を実施し、説明できる。				
DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる					4) データの種類、尺度、散布度を理解し、基本的な計算方法を実施、説明できる。				
DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる					5) 統計学における推定と検定の考え方やおよび方法を理解できる。				
DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる					6) データの取扱い上の倫理的配慮事項を理解できる。				
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>									
回	授業内容			方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	保健統計学とは 統計資料の見方 人口動態統計			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習: 2時間	講義内容の復習	事後学習: 2時間
2	人口動態統計 保健統計調査 死因統計			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習: 2時間	講義内容の復習	事後学習: 2時間
3	疫学研究について 相対危険 寄与危険 寄与危険割合			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習: 2時間	講義内容の復習	事後学習: 2時間
4	オッズ比など 有病率、罹患率、発症率、死亡率、致命率 指標の相互関係 疾病予防と指標の変化			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習: 2時間	講義内容の復習	事後学習: 2時間
5	死亡率の年齢調整 ・直接法 ・間接法 スクリーニング			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習: 2時間	講義内容の復習	事後学習: 2時間
6	データ ・種類と尺度、代表値、散布度 正規分布の特徴 基準値と偏差値 相関係数と回帰係数			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習: 2時間	講義内容の復習	事後学習: 2時間
7	推定の考え方 検定の考え方 $\chi^2$ (カイ二乗) 検定 t検定			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習: 2時間	講義内容の復習	事後学習: 2時間
8	(授業時間 45分) 主な疾患の疫学 ・感染症法、予防接種法 ・結核、麻疹 ・新型インフルエンザ、新型コロナウイルス ・ノロウイルス			講義	八谷百合子	教科書の該当頁を読む	事前学習: 2時間	講義内容の復習	事後学習: 2時間
<b>成績評価方法・基準</b>		授業への参加・態度・発表(20%)、定期試験(80%)を総合的に評価し、100点中60点以上を合格とする。							
<b>課題に対するフィードバック</b>		フィードバックは、その都度講義時間内に行う。また、個別のフィードバックが必要な場合は、時間外に実施する。							
<b>教科書 ※教科書には○を記載</b>		○浅野嘉延著「看護学生のための疫学・保健統計 第4版」			ISBN: 978-4-525-05344-4 南山堂				
<b>参考書</b>		福富和夫、橋本修二著、「保健統計・疫学 第7版」			ISBN: 978-4-525-05337-6 南山堂				
<b>参考文献</b>		厚生労働統計協会編「国民衛生の動向 最新版」 厚生労働統計協会 講義の中に示す。							
<b>オフィスアワー</b>		講義日: 木、金曜日 16:30~17:30							
<b>その他</b>		メールアドレス : 後日提示							
<b>教員の实務経験と授業内容の関連</b>									

科目ナンバー		1039A			実務経験のある教員等の有無		無	
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期	
39	看護の基礎	3単位	45時間	必修	講義	1年	前期・後期	
責任者		宮林郁子		担当者	宮林郁子、宗正みゆき、岩永和代、浦綾子、石川りみ子、紙谷恵子			
<b>授業の概要(授業の目的)</b>								
看護学の基本的概念である「人間」「環境・社会」「健康」「看護」について、人と環境の相互作用、人の健康の連続性と予期せぬ健康障害、看護倫理、看護実践、プロフェッション・専門性などの関連するテーマを通して理解する。また、看護学の先史から学び、「看護とは何か」を問いつつ、近年の看護の役割や看護実践範囲の拡大、看護実践の課題を概観して学ぶ。さらに、看護における人間の全人的理解に必要な要素を学ぶ。この科目は基礎看護学、成人看護学、および老年看護学の概論として、それぞれの領域の視点でセルフケアの概念、看護実践の原理、人間の基本的ニーズ、特別なニーズについて学修する。								
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>					<b>学修の到達目標</b>			
<input type="radio"/> DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる					1) 看護学の基本的概念とその相互作用が説明できる。  2) 看護の先史から「看護とは何か」を学び、看護の役割や課題をとらえて、看護における全人的理解に必要な要素を理解できる。  3) 成人老年期における看護の基本概念との相互作用、人の健康の連続性と健康障害を理解できる。			
<input type="radio"/> DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる								
<input type="radio"/> DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる								
<input type="radio"/> DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる								
<input checked="" type="radio"/> DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる								
<input type="radio"/> DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる								
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>								
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)				
1	人間科学としての看護学	講義	宮林郁子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	まとめノートを活用して復習する	事後学習:1時間	
2	看護の歴史	講義	宮林郁子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	まとめノートを活用して復習する	事後学習:1時間	
3	看護実践における重要な概念	講義	宗正みゆき	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	まとめノートを活用して復習する	事後学習:1時間	
4	看護における倫理と法	講義	宗正みゆき	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	まとめノートを活用して復習する	事後学習:1時間	
5	専門職としての看護	講義	宮林郁子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	まとめノートを活用して復習する	事後学習:1時間	
6	看護実践の方法	講義	宗正みゆき	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	まとめノートを活用して復習する	事後学習:1時間	
7	看護実践を支えるもの	講義	紙谷恵子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	まとめノートを活用して復習する	事後学習:1時間	
8	ライフサイクルからみた成人期の特徴	講義	浦綾子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	まとめと講義資料の復習	事後学習:1時間	
9	成人期における社会人としての役割と責任、働くことの意味	講義	浦綾子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
10	家族の定義、発達段階と発達課題、生活環境としての地域の関り	講義	浦綾子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
11	日本の人口構成、平均寿命、死亡の状況、受療状況、労働災害、感染症、自殺、ドメスティックバイオレンス	講義	岩永和代	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
12	成人期にある人々の健康障害と課題	講義	岩永和代	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
13	健康の危機状況;危機理論、周手術期の健康問題、患者・家族の特徴、急性期からの回復過程	講義	岩永和代	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
14	慢性期にある成人の理解:不確かさ理論、病みの軌跡モデル等	講義	浦綾子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
15	リハビリテーションの定義、国際生活機能分類、障害受容に関する理論、障害を持つ人と家族の理解	講義	岩永和代	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
16	老年看護学の理論・概念	講義	石川りみ子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
17	高齢者を取り巻く社会福祉制度	講義	石川りみ子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
18	経過別に見た老年看護	講義	石川りみ子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
19	地域・在宅における老年看護	講義	石川りみ子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
20	高齢者のリスクマネジメント	講義	石川りみ子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
21	高齢者の薬物療法と服薬管理	講義	石川りみ子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
22	地域包括ケアシステムに向けた継続医療と看護	講義	石川りみ子	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:1時間	講義内容を復習し、まとめる	事後学習:1時間	
23	(授業時間 45分) 高齢者疑似体験教材を用いて高齢者の身体的変化を追体験する	グループワーク	各担当者	テキスト関連箇所をまとめる	事前学習:0.5時間	ディスカッションのレポート作成	事後学習:1時間	

成績評価方法・基準	筆記試験(80%)、課題レポート(20%)により評価する。
課題に対するフィードバック	・質問や意見は、講義中に学生全員が共有し、解決できるようにする。講義終了後は、個別対応する。
教科書 ※教科書には○を記載	○新体系看護学全書「基礎看護学①看護学概論 第5版」 ISBN : 978-4-8392-3380-8 メチカルフレンド社 ○新体系看護学全書「成人看護学①成人看護学概論 / 成人保健 第7版」 ISBN : 978-4-8392-3384-6 メチカルフレンド社 ○新体系看護学全書「老年看護学①老年看護学概論 / 老年保健 第5版」 ISBN : 978-4-8392-3372-3 メチカルフレンド社
参考書	
参考文献	新体系看護学全書準拠「基礎看護学まとめノート 別冊回答付き」 ISBN : 978-4-8392-1681-8 メチカルフレンド社 手島恵監修「看護職の基本的責務 2024年度版」 ISBN : 978-4-8180-2604-9 日本看護協会出版会 ヴァージニア・ハンダーソン 著「看護の基本となるもの」 ISBN : 978-4-8180-1996-6 日本看護協会出版会
オフィスアワー	講義日: 木、金曜日 16:30~17:30
その他	メールアドレス : 後日提示
教員の実務経験と授業内容の関連	

科目ナンバー		1041A			実務経験のある教員等の有無		有
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期
41	臨床看護学総論	1単位	15時間	必修	講義	1年	後期
責任者		宮林郁子		担当者	宮林郁子、石橋曜子、吉森夏子		
授業の概要(授業の目的)							
臨床における看護を理解するためには、人は生活者として生きていることを実践の基盤とすることで臨床を人間（看護師）と人間（患者）の出会いの場であり、真に患者と向き合うものであること、そして、臨床の場と患者は変化し続けていることを学修する。そのために、臨床看護における場の特徴や臨床看護に臨む上での心得、看護の役割を理解する。看護の基礎で学習した人間とは何かを理解したうえで医療・看護を必要としている患者と家族を理解する。看護実践で活用できるように看護の対象者の健康障害レベルに応じた看護を学修する。							
ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連				学修の到達目標			
DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1) 臨床の場における対象者と看護師の役割を説明できる。 2) 健康障害から生じるヘルスケアニーズについて説明できる。 3) 生命を維持すること、障害が及ぼす日常生活上の課題を説明できる。 4) 治療の目的を理解し治療を受ける患者の看護を説明できる。 5) 健康障害をもつ対象者の課題とニーズをふまえた看護について考察できる。			
○ DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる							
◎ DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる							
○ DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる							
DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる							
DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる							
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)			
1	臨床の場の特徴と看護師の役割 臨床における対象者の理解	講義	宮林郁子	教科書序章・第1章・第2章	事前学習：1時間		
				教科書序章・第1章・第2章	事後学習：2時間		
2	健康障害レベルと経過から見た患者の看護	講義	宮林郁子	教科書第3章	事前学習：1時間		
				教科書第3章	事後学習：2時間		
3	臨床の場から療養の場への移行と多職種連携	講義	宮林郁子	配布資料	事前学習：1時間		
				配布資料	事後学習：2時間		
4	生命維持や日常生活に影響を及ぼす障害と看護(1)	講義	石橋曜子	教科書第4章 I - III	事前学習：1時間		
				教科書第4章 I - III	事後学習：2時間		
5	生命維持や日常生活に影響を及ぼす障害と看護(2)	講義	石橋曜子	教科書第4章 IV - V	事前学習：1時間		
				教科書第4章 IV - V	事後学習：2時間		
6	医療機器の使用と医療機器を装着する患者の看護	講義	石橋曜子	教科書第6章	事前学習：1時間		
				教科書第6章	事後学習：2時間		
7	治療を受ける患者の看護(1)	講義	吉森夏子	教科書第5章 I - IV	事前学習：1時間		
				教科書第5章 I - IV	事後学習：2時間		
8	(授業時間 45分) 治療を受ける患者の看護(2)	講義	吉森夏子	教科書第5章 V - XI	事前学習：1時間		
				教科書第5章 V - XI	事後学習：2時間		
成績評価方法・基準		定期試験(80%)、レポート課題(20%)により評価する。					
課題に対するフィードバック		レポート課題は、コメントをつけて返却する。					
教科書 ※教科書には○を記載 参考書 参考文献		○新体系看護学全書「基礎看護学④臨床看護学総論 第3版」 フアフ イブラム メレイス監修「移行理論と看護」		ISBN：978-4-8392-3358-7 メチカルフレンド社 ISBN：9784780913316 学研			
オフィスアワー その他		講義日：木、金曜日 16：30～17：30 メールアドレス：後日提示					
教員の実務経験と授業内容の関連		看護師としての臨床経験を活かし、臨床現場における看護について講義を行う。(宮林、石橋、吉森)					

科目ナンバー		1047A			実務経験のある教員等の有無		無																					
No.	教科目名	単位数	時間数	必修・選択別	授業形態	開講年次	開講時期																					
47	早期看護体験実習	1単位	45時間	必修	実習	1年	前期																					
責任者		紙谷恵子		担当者	紙谷恵子、杉浦恵子、山川裕子、馬場みちえ、木下みゆき、森谷由美子、嶋崎昌子、山本博美、宮坂啓子、宮國友美、柴田裕子、深川直美、安高久美子、小野織江、稲又泰代、吉森夏子、光根美保																							
<b>授業の概要(授業の目的)</b>																												
対象者の療養環境や看護活動の実際を見学し、様々な健康状態にある対象者の生活を知り、看護の役割を体験的に学ぶ。療養環境を知り、療養中の生活を整えることの意味を考える。看護師と対象者のコミュニケーションの場を見学し、看護におけるコミュニケーションのあり方を考える。看護学生に求められている態度・姿勢とは何かを考え、看護学生としての社会的・職業的基礎を習得する。これらの早期看護体験実習を通して、専門職としての自己研鑽を続ける動機づけとする。																												
<b>ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連</b>					<b>学修の到達目標</b>																							
<input type="checkbox"/>	DP-1 あらゆる人々の生命や人権を尊重し、擁護できる				1)	看護活動の場を知り、実習から得られる発見や気づきによって、看護を学ぶ上での学習意欲を高めることができる。																						
<input type="checkbox"/>	DP-2 専門職として倫理的感性を高め、状況に応じて判断し、最適な行動を選択できる				2)	看護の対象者が療養している環境を知り、生活を整えることの意味を考えることができる。																						
<input checked="" type="checkbox"/>	DP-3 看護の視点でアセスメントを行い、根拠に基づき看護を実践し、省察することができる				3)	看護師と対象者の相互的なコミュニケーションの場を見学し、看護におけるコミュニケーションの在り方について考えることができる。																						
<input type="checkbox"/>	DP-4 人々を中心に多職種と連携し、協働することができる				4)	看護学生に求められる態度・姿勢について考えることができる。																						
<input type="checkbox"/>	DP-5 専門職として継続的に研鑽し、最善の看護を探究することができる																											
<input type="checkbox"/>	DP-6 地域の人々の健康や暮らしに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる																											
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>																												
回	授業内容			方法	担当者	予習・復習(学習課題)																						
	1. 実習場所 ・北九州総合病院 ・国立病院機構小倉医療センター ・九州労災病院 ・北九州市立八幡医療センター 2. 実習時期・単位および時間 1年次前期 1単位 45時間 3. 実習期間 令和8年6月 4. 実習スケジュール <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>午前</th> <th>午後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前週</td> <td>事前オリエンテーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>月</td> <td>病棟オリエンテーション</td> <td>病棟実習(シャドウイング)</td> </tr> <tr> <td>火</td> <td>病棟実習(シャドウイング)</td> <td>病棟実習(シャドウイング) 実習カンファレンス①</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>病棟実習(シャドウイング)</td> <td>病棟実習(シャドウイング) 実習カンファレンス②</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>病棟実習(シャドウイング)</td> <td>病棟実習(シャドウイング) 実習カンファレンス③</td> </tr> <tr> <td>金</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">学習成果まとめ(学内) ・ディスカッション・学習成果発表・評価</td> </tr> </tbody> </table>			曜日	午前	午後	前週	事前オリエンテーション		月	病棟オリエンテーション	病棟実習(シャドウイング)	火	病棟実習(シャドウイング)	病棟実習(シャドウイング) 実習カンファレンス①	水	病棟実習(シャドウイング)	病棟実習(シャドウイング) 実習カンファレンス②	木	病棟実習(シャドウイング)	病棟実習(シャドウイング) 実習カンファレンス③	金	学習成果まとめ(学内) ・ディスカッション・学習成果発表・評価		実習	各担当者	【予習】 ①看護の基礎の講義内容を復習しておく。 【復習】 ①毎日の実習のまとめを行い、次の学修課題を明らかにする。 ②実習時の自己の態度について振り返りを行う。 ③実習での学びを整理する。	
曜日	午前	午後																										
前週	事前オリエンテーション																											
月	病棟オリエンテーション	病棟実習(シャドウイング)																										
火	病棟実習(シャドウイング)	病棟実習(シャドウイング) 実習カンファレンス①																										
水	病棟実習(シャドウイング)	病棟実習(シャドウイング) 実習カンファレンス②																										
木	病棟実習(シャドウイング)	病棟実習(シャドウイング) 実習カンファレンス③																										
金	学習成果まとめ(学内) ・ディスカッション・学習成果発表・評価																											
	1) 実習中の学習(※6人/グループで実習を行う) (1) 担当看護師のシャドウイングを通して、看護活動の実際を見学し、看護の役割について振り返りを行う。 (2) 担当看護師のシャドウイングを通して、療養環境について見学し、療養環境を整える意味について振り返りを行う。 (3) 看護師と対象者のコミュニケーションの場を見学し、看護におけるコミュニケーションのあり方について振り返りを行う。 5. 実習記録 所定の記録用紙に手書きで記載し、指定された方法で提出する。 6. カンファレンス 1) 時間は原則14:30~15:00(30分)とする。 2) 場所は実習指導者に確認後調整する。 3) 学生主体で運営し、選出された司会・書記が協力し全員が参加、発言できるように進行する。 4) 実習内容を通しての学びを発表後、質疑応答を行う。 5) 病棟看護師長または実習指導者にテーマと時間を報告し、参加して頂き助言を得る。 6) 初期は指定の記録用紙に記載し、終了後提出する。																											

成績評価方法・基準	実習目標にそってルーブリック評価を行う。
課題に対するフィードバック	実習期間中、実習記録を閲覧し、記述内容についてコメントを記入する。後日、教員からのコメントを確認し、追加・修正する。必要時個人指導を行う。
教科書 ※教科書には○を記載 参考書 参考文献	関連科目のテキストや配布資料、ワーク資料等
オフィスアワー その他	学内実習日 16:30~17:30 メールアドレス : 後日提示
教員の実務経験と授業内容の関連	